令和４年度

阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務

成　竜　橋
設　計　図　面

令和 ６年　３月

東北地方整備局　福島河川国道事務所

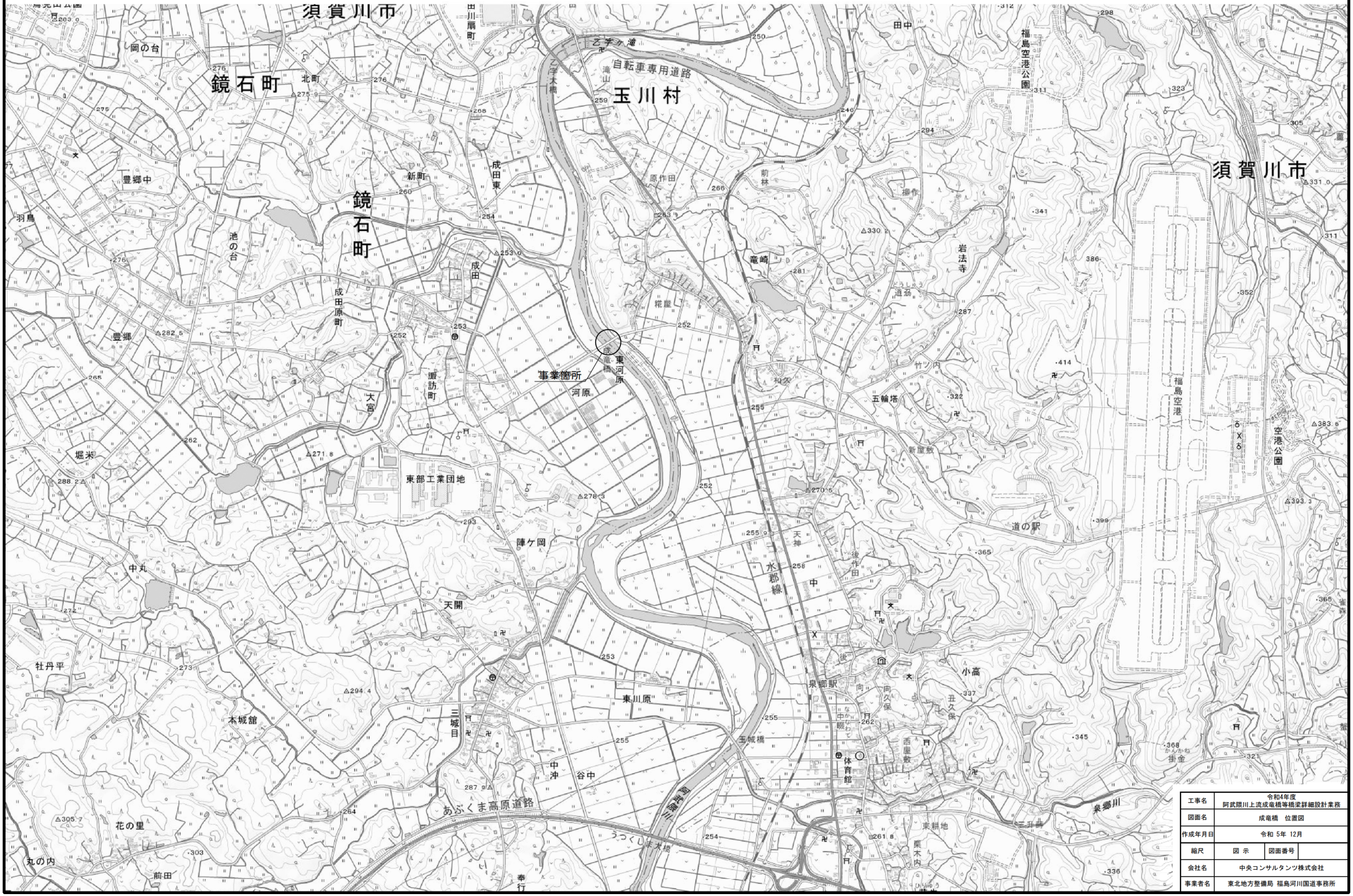
中央コンサルタンツ株式会社

令 和 4 年 度
阿 武 隈 川 上 流 成 竜 橋 等 橋 梁 詳 細 設 計 業 務
【 共 通 図 面 目 録 】

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
1	位置図	31		61		91	
2	橋梁一般図	32		62		92	
3		33		63		93	
4		34		64		94	
5		35		65		95	
6		36		66		96	
7		37		67		97	
8		38		68		98	
9		39		69		99	
10		40		70		100	
11		41		71		101	
12		42		72		102	
13		43		73		103	
14		44		74		104	
15		45		75		105	
16		46		76		106	
17		47		77		107	
18		48		78		108	
19		49		79		109	
20		50		80		110	
21		51		81		111	
22		52		82		112	
23		53		83		113	
24		54		84		114	
25		55		85		115	
26		56		86		116	
27		57		87		117	
28		58		88		118	
29		59		89		119	
30		60		90		120	

成竜橋　位置図

S=1:10,000



工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋　位置図
作成年月日	令和 5年 12月
縮尺	図 示　　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

成竜橋 橋梁一般図（その1）

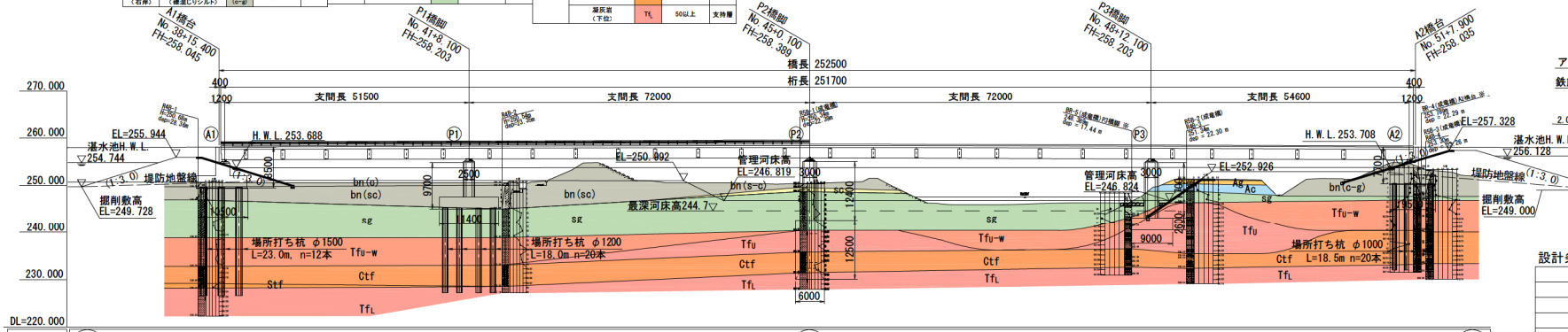
地層凡例

地層名	土質名	記号	N値
盛土層（左岸）	盛土・表土（シルト）	bn-ts (c)	-
盛土層（左岸）	盛土（シルト質砂）	bn (sc)	2～8
盛土層（左岸）	盛土（シルト混じり砂）	bn (s-c)	-
盛土層（右岸）	盛土・表土（礫混じりシルト）	bn-ts (c-g)	3～6

地層名	土質名	記号	N値	
粘性土質	砂質シルト	Ac	4～7	0
砂質土層	シルト質砂	sc	2～8	0
砂礫土層	砂礫	Ag	-	0
	砂礫	sg	12～50以上	

地層名	土質名	記号	N値	
白河層	風化凝灰岩（上位）	Tf_U-w	28～50以上	
	凝灰岩（上位）	Tf_U	33～50以上	支持層
	凝灰質礫岩	Ctf	20～50以上	
	凝灰質シルト岩	Stf	22～40	
	凝灰岩（下位）	Tf_L	50以上	支持層

側面図 S=1:500

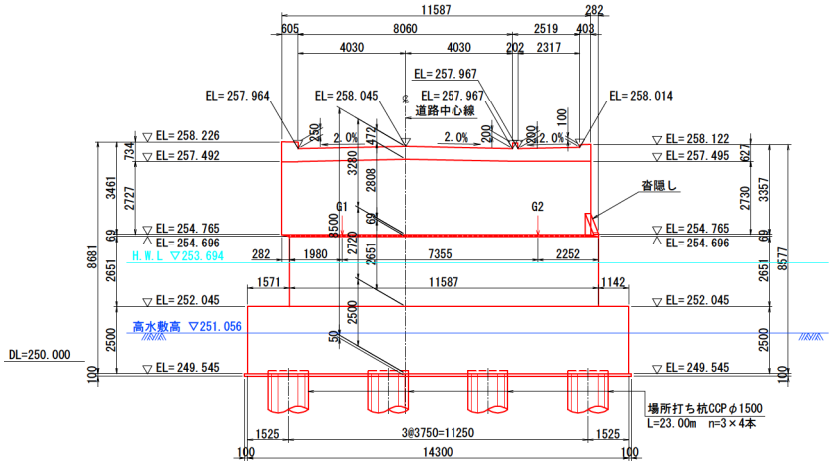


| | | |

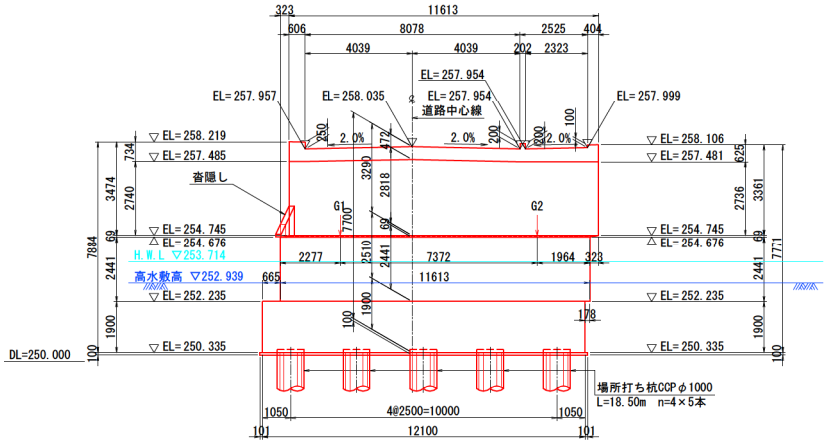
成竜橋 橋梁一般図(その2)

下部工正面図 S=1:100

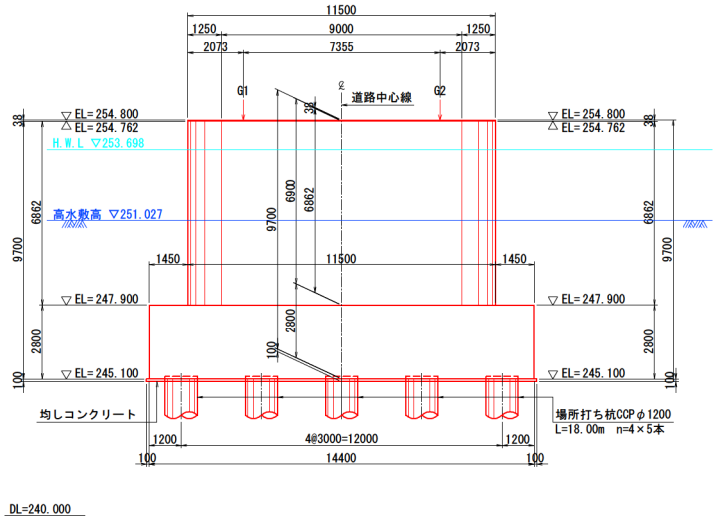
A1橋台



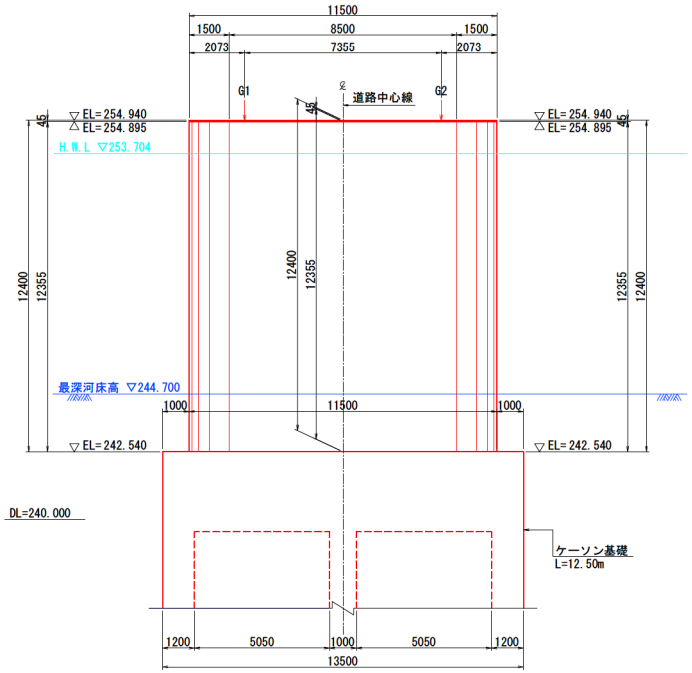
A2橋台



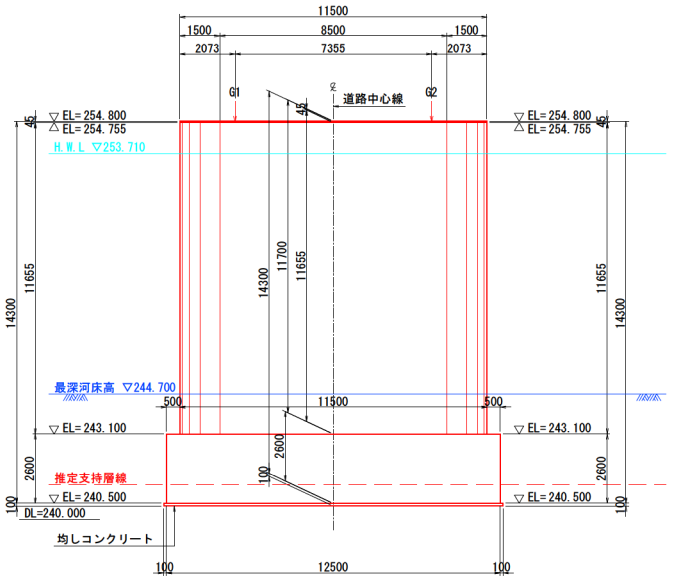
P1橋脚



P2橋脚



P3橋脚



工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 橋梁一般図(その2)
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

令和４年度

阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務

成　竜　橋
下　部　工　設　計　図　面

令和6年3月

東北地方整備局　福島河川国道事務所

中央コンサルタンツ株式会社

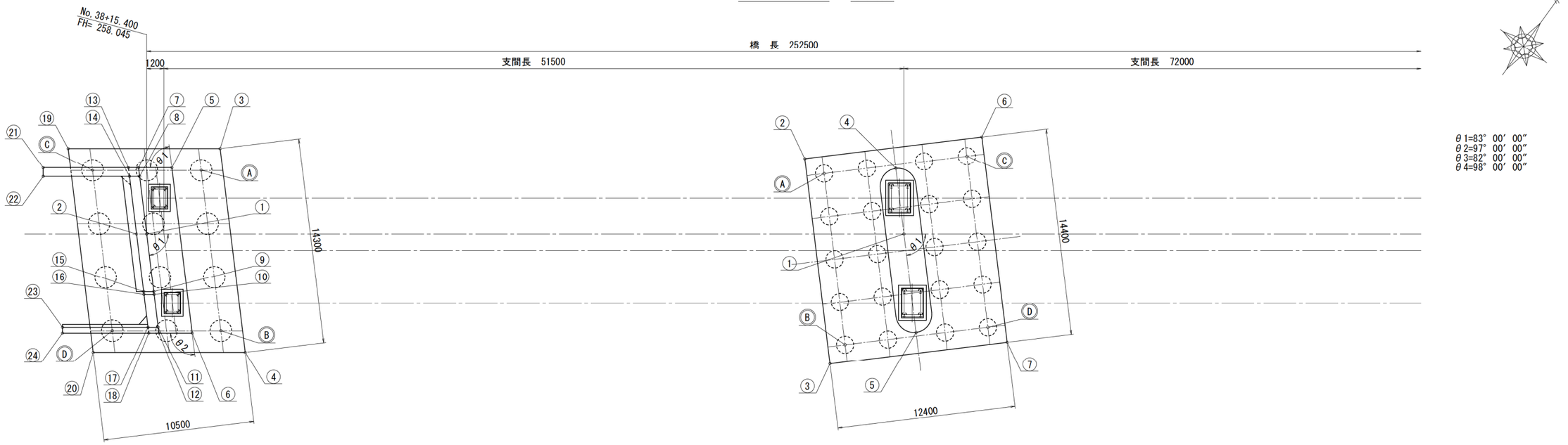
令和４年度
阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
【 成竜橋 下部工設計図面 】

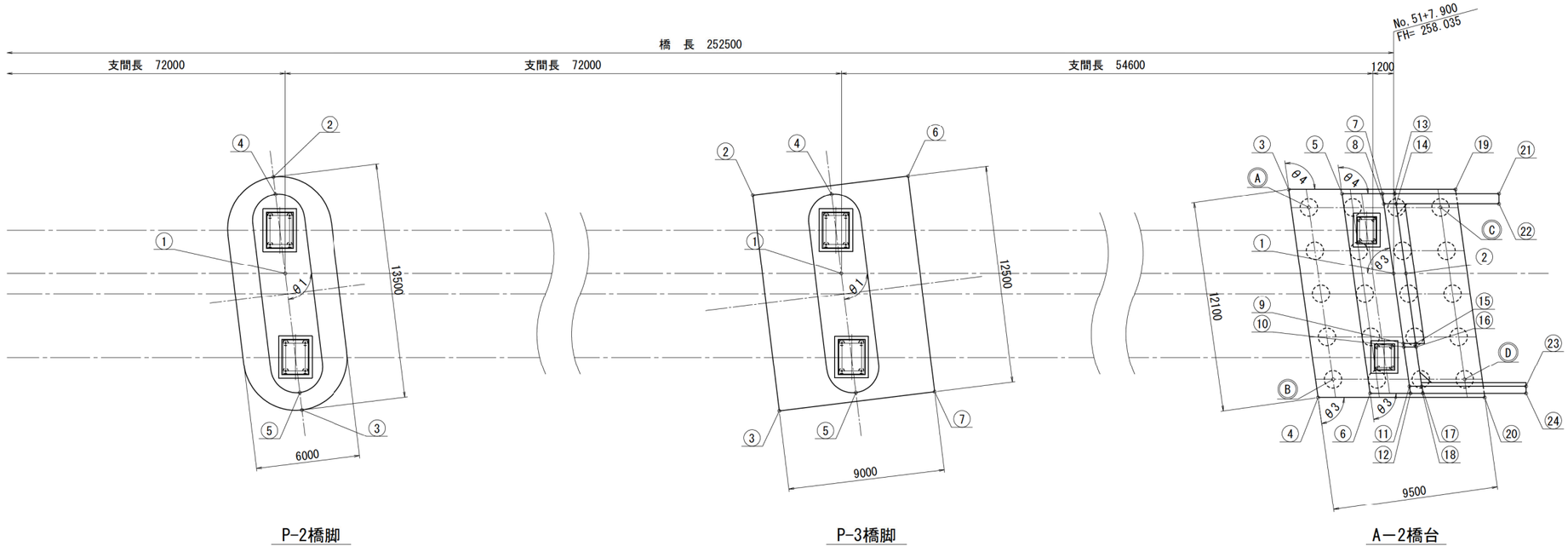
図番	図面名称		図番	図面名称		図番	図面名称		図番	図面名称		図番	図面名称	
1	下部工線形図(その1)		36	P-2橋脚配筋図(その3)		71	A-2橋台配筋図(その4)		106	A2橋台仮設土留工図 (その2)		141		
2	下部工線形図(その2)		37	P-2橋脚配筋図(その4)		72	A-2橋台配筋図(その5)		107	工事用搬入路 (その1)	A1,P1	142		
3	A-1橋台構造図(その1)		38	P-2橋脚配筋図(その5)		73	A-2橋台配筋図(その6)		108	工事用搬入路 (その2)	P2	143		
4	A-1橋台構造図(その2)		39	P-2橋脚配筋図(その6)		74	A-2橋台配筋図(その7)		109	工事用搬入路 (その3)	P2坂路	144		
5	A-1橋台構造図(その3)		40	P-2橋脚配筋図(その7)		75	A-2橋台配筋図(その8)		110	工事用搬入路 (その4)	P3	145		
6	A-1橋台配筋図(その1)		41	P-2橋脚ケーソン基礎構造一般図		76	A-2橋台配筋図(その9)		111	施工ヤード計画図 (その1)	A1	146		
7	A-1橋台配筋図(その2)		42	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その1)		77	A-2橋台配筋図(その10)		112	施工ヤード計画図 (その2)	P1	147		
8	A-1橋台配筋図(その3)		43	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その2)		78	A-2橋台配筋図(その11)		113	施工ヤード計画図 (その3)	P2	148		
9	A-1橋台配筋図(その4)		44	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その3)		79	A-2橋台配筋図(その12)		114	施工ヤード計画図 (その4)	P3	149		
10	A-1橋台配筋図(その5)		45	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その4)		80	A-2橋台配筋図(その13)		115	施工ヤード計画図 (その5)	A2	150		
11	A-1橋台配筋図(その6)		46	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その5)		81	A-2橋台場所打ち杭詳細図(その1)		116	下部工施工ステップ図 (案) (その1)		151		
12	A-1橋台配筋図(その7)		47	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その6)		82	A-2橋台場所打ち杭詳細図(その2)		117	下部工施工ステップ図 (案) (その2)		152		
13	A-1橋台配筋図(その8)		48	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その7)		83	A-2橋台踏掛版構造図		118	下部工施工ステップ図 (案) (その3)		153		
14	A-1橋台配筋図(その9)		49	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その8)		84	A-2橋台踏掛版配筋図		119			154		
15	A-1橋台配筋図(その10)		50	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その9)		85	小型擁壁線形概要図		120			155		
16	A-1橋台配筋図(その11)		51	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その10)		86	小型擁壁構造・配筋図 (その1)		121			156		
17	A-1橋台配筋図(その12)		52	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その11)		87	小型擁壁構造・配筋図 (その2)		122			157		
18	A-1橋台配筋図(その13)		53	P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その12)		88	小型擁壁構造・配筋図 (その3)		123			158		
19	A-1橋台場所打ち杭詳細図(その1)		54	P-2橋脚ケーソン基礎刃口金物図		89	小型擁壁構造・配筋図 (その4)		124			159		
20	A-1橋台場所打ち杭詳細図(その2)		55	P-2橋脚ケーソン基礎頂版支保工図		90	小型擁壁構造・配筋図 (その5)		125			160		
21	A-1橋台踏掛版構造図		56	P-3橋脚構造図		91	小型擁壁構造・配筋図 (その6)		126			161		
22	A-1橋台踏掛版配筋図		57	P-3橋脚配筋図(その1)		92	小型擁壁構造・配筋図 (その7)		127			162		
23	P-1橋脚構造図		58	P-3橋脚配筋図(その2)		93	小型擁壁構造・配筋図 (その8)		128			163		
24	P-1橋脚配筋図(その1)		59	P-3橋脚配筋図(その3)		94	小型擁壁ガードパイプ詳細図 (参考図)		129			164		
25	P-1橋脚配筋図(その2)		60	P-3橋脚配筋図(その4)		95	条件護岸計画図		130			165		
26	P-1橋脚配筋図(その3)		61	P-3橋脚配筋図(その5)		96	護岸工構造図 (その1)	A1展開図	131			166		
27	P-1橋脚配筋図(その4)		62	P-3橋脚配筋図(その6)		97	護岸工構造図 (その2)	A1詳細図	132			167		
28	P-1橋脚配筋図(その5)		63	P-3橋脚配筋図(その7)		98	護岸工構造図 (その3)	A2展開図	133			168		
29	P-1橋脚配筋図(その6)		64	P-3橋脚配筋図(その8)		99	護岸工構造図 (その4)	A2詳細図	134			169		
30	P-1橋脚配筋図(その7)		65	A-2橋台構造図(その1)		100	護岸工構造図 (その5)	P3展開詳細図	135			170		
31	P-1橋脚場所打ち杭詳細図(その1)		66	A-2橋台構造図(その2)		101	P3橋脚護床工割付図 (参考図)		136			171		
32	P-1橋脚場所打ち杭詳細図(その2)		67	A-2橋台構造図(その3)		102	P1橋脚仮設土留工図		137			172		
33	P-2橋脚構造図		68	A-2橋台配筋図(その1)		103	P3橋脚仮設土留工図 (その1)		138			173		
34	P-2橋脚配筋図(その1)		69	A-2橋台配筋図(その2)		104	P3橋脚仮設土留工図 (その2)		139			174		
35	P-2橋脚配筋図(その2)		70	A-2橋台配筋図(その3)		105	A2橋台仮設土留工図 (その1)		140			175		

下部工線形図(その1)

平 面 図

S=1:150





工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 下部工線形図(その1)
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

下部工線形図(その2)

寸　度　表

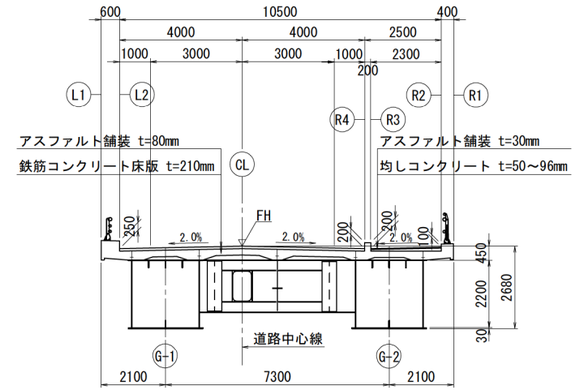
	A－1 橋　台				P－1 橋　脚				A－2 橋　台			
	X	Y	Z		X	Y	Z		X	Y	Z	
①	136,715.239	49,529.127	258.045	①	136,746.195	49,571.777	※ 254.800	①	136,863.559	49,733.473	258.035	
②	136,714.824	49,528.557	258.043	②	136,746.389	49,563.123	※※ 245.100	②	136,863.974	49,734.045	258.033	
③	136,723.055	49,529.772	※※ 249.545	③	136,735.853	49,572.938	※※ 245.100	③	136,863.899	49,725.781	※※ 250.335	
④	136,712.592	49,539.520	※※ 249.545	④	136,749.554	49,568.647	※ 254.800	④	136,855.191	49,734.182	※※ 250.335	
⑤	136,719.991	49,527.844	※ 254.729	⑤	136,741.140	49,576.486	※ 254.800	⑤	136,865.538	49,728.368	※ 254.709	
⑥	136,711.513	49,535.742	※ 254.729	⑥	136,754.842	49,572.195	※※ 245.100	⑥	136,857.180	49,736.432	※ 254.709	
⑦	136,718.630	49,525.968	258.226	⑦	136,744.305	49,582.011	※※ 245.100	⑦	136,866.902	49,730.248	258.219	
⑧	136,718.187	49,526.380	257.964	P－2 橋　脚				⑧	136,866.466	49,730.669	257.957	
⑨	136,712.290	49,531.875	257.967		X	Y	Z	⑨	136,860.652	49,736.278	257.954	
⑩	136,712.142	49,532.012	257.967	①	136,788.488	49,630.046	※ 254.960	⑩	136,860.507	49,736.418	257.954	
⑪	136,710.447	49,533.591	258.014	②	136,792.579	49,626.235	※※※ 242.660	⑪	136,858.835	49,738.031	257.999	
⑫	136,710.152	49,533.866	258.122	③	136,782.702	49,635.437	※※※ 242.660	⑫	136,858.545	49,738.311	258.106	
⑬	136,718.215	49,525.397	258.223	④	136,791.848	49,626.916	※ 254.960	⑬	136,867.317	49,730.820	258.217	
⑭	136,717.773	49,525.810	257.962	⑤	136,783.434	49,634.755	※ 254.960	⑭	136,866.881	49,731.241	257.955	
⑮	136,711.876	49,531.304	257.965	P－3 橋　脚				⑮	136,861.067	49,736.850	257.951	
⑯	136,711.728	49,531.441	257.965		X	Y	Z	⑯	136,860.922	49,736.990	258.151	
⑰	136,710.033	49,533.021	258.012	①	136,830.782	49,688.315	※ 254.800	⑰	136,859.251	49,738.603	257.996	
⑱	136,709.738	49,533.295	258.120	②	136,831.439	49,681.552	※※ 240.500	⑱	136,858.960	49,738.883	258.104	
⑲	136,716.841	49,521.211	※※ 249.545	③	136,822.294	49,690.073	※※ 240.500	⑲	136,869.534	49,733.544	※※ 250.335	
⑳	136,706.378	49,530.959	※※ 249.545	④	136,834.141	49,685.185	※ 254.800	⑳	136,860.827	49,741.946	※※ 250.335	
㉑	136,714.734	49,520.601	258.206	⑤	136,825.727	49,693.024	※ 254.800	㉑	136,870.842	49,735.676	258.199	
㉒	136,714.249	49,520.954	257.944	⑥	136,837.574	49,688.137	※※ 240.500	㉒	136,870.356	49,736.028	257.937	
㉓	136,706.537	49,528.205	257.994	⑦	136,828.429	49,696.658	※※ 240.500	㉓	136,862.775	49,743.459	257.978	
㉔	136,706.213	49,528.440	258.102					㉔	136,862.451	49,743.694	258.086	

※　　～ 沓座天端高を示す。
※※　～ 底版下面高を示す。
※※※ ～ 柱下面高を示す。

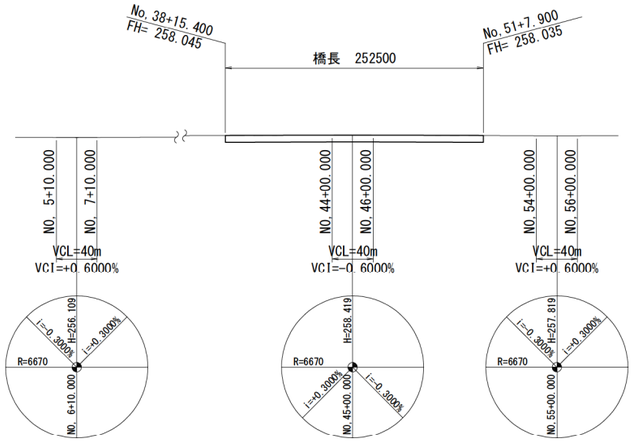
A-1橋台　基礎杭		
	X	Y
Ⓐ	136,721.051	49,529.589
Ⓑ	136,712.820	49,537.258
Ⓒ	136,716.613	49,523.474
Ⓓ	136,708.381	49,531.142
P-1橋脚　基礎杭		
	X	Y
Ⓐ	136,746.329	49,564.819
Ⓑ	136,737.549	49,572.998
Ⓒ	136,753.146	49,572.135
Ⓓ	136,744.365	49,580.315
A-2橋台　基礎杭		
	X	Y
Ⓐ	136,863.737	49,727.327
Ⓑ	136,856.540	49,734.270
Ⓒ	136,868.186	49,733.456
Ⓓ	136,860.989	49,740.399

断　面　図

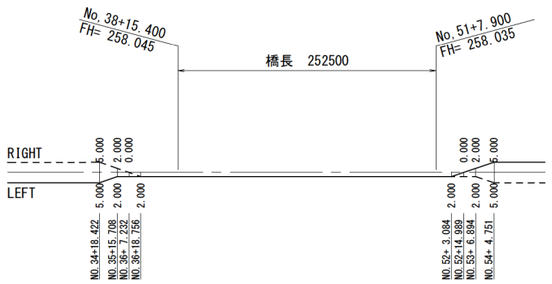
S=1:100



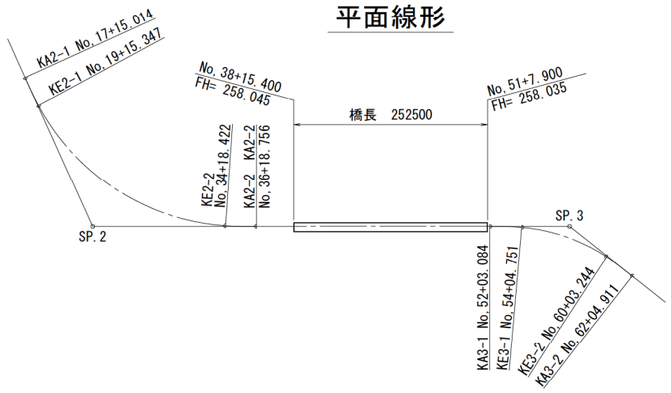
縦断線形



横断線形



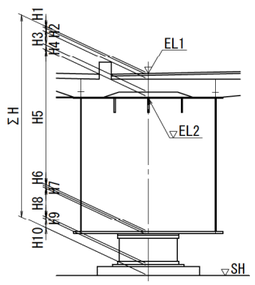
平面線形



支点上構造高表

			S-1			P-1			P-2			P-3			S-2		
			G-1	CL	G-2	G-1	CL	G-2	G-1	CL	G-2	G-1	CL	G-2	G-1	CL	G-2
支承部座標	大座標系（世界測地系）	X	136,717.786	136,715.943	136,712.405	136,748.038	136,746.195	136,742.657	136,790.331	136,788.488	136,784.950	136,832.625	136,830.782	136,827.243	136,864.671	136,862.854	136,859.366
		Y	49,528.382	49,530.099	49,533.395	49,570.060	49,571.777	49,575.074	49,628.329	49,630.046	49,633.342	49,686.598	49,688.315	49,691.611	49,730.749	49,732.502	49,735.868
胸壁前面		FH	---	258.045	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	258.035	---
支点上 (mm)		EL1	257.998	258.049	257.983	258.152	258.203	258.137	258.339	258.389	258.321	258.154	258.203	258.133	257.990	258.039	257.969
舗装厚 (mm)		H1	80	---	30	80	---	30	80	---	30	80	---	30	80	---	30
均しコンクリート厚 (mm)		H2	---	---	62	---	---	62	---	---	62	---	---	62	---	---	62
床版厚 (mm)		H3	210	---	210	210	---	210	210	---	210	210	---	210	210	---	210
ハンチ高 (mm)		H4	110	---	80	110	---	80	110	---	80	110	---	80	110	---	80
腹板天端高		EL2	257.598	---	257.601	257.752	---	257.755	257.939	---	257.939	257.754	---	257.751	257.590	---	257.587
腹板高 (mm)		H5	2200	---	2200	2200	---	2200	2200	---	2200	2200	---	2200	2200	---	2200
下フランジ厚 (mm)		H6	12	---	12	28	---	28	33	---	31	30	---	29	12	---	12
ソールプレート厚 (mm)		H7	27	---	27	37	---	37	37	---	37	37	---	37	27	---	27
支承高 (mm)		H8	426	---	426	479	---	479	521	---	521	479	---	479	431	---	431
無収縮モルタル厚 (mm)		H9	30	---	30	30	---	30	30	---	30	30	---	30	30	---	30
台座高 (mm)		H10	174	---	177	178	---	181	158	---	160	178	---	176	181	---	178
構造高 (m)		ΣH	3.269	---	3.254	3.352	---	3.337	3.379	---	3.361	3.354	---	3.333	3.281	---	3.260
沓座天端高		SH	254.729	254.729	254.729	254.800	254.800	254.800	254.960	254.960	254.960	254.800	254.800	254.800	254.709	254.709	254.709

支点上構造高

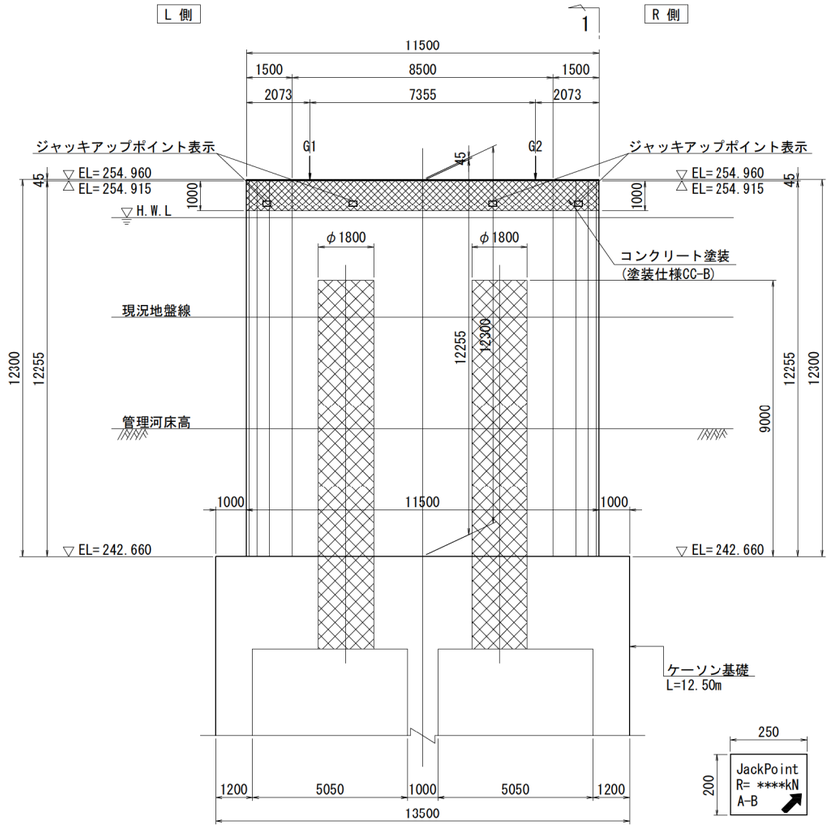


工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋　下部工線形図(その2)
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

P-2橋脚構造図

S=1:100

正 面 図

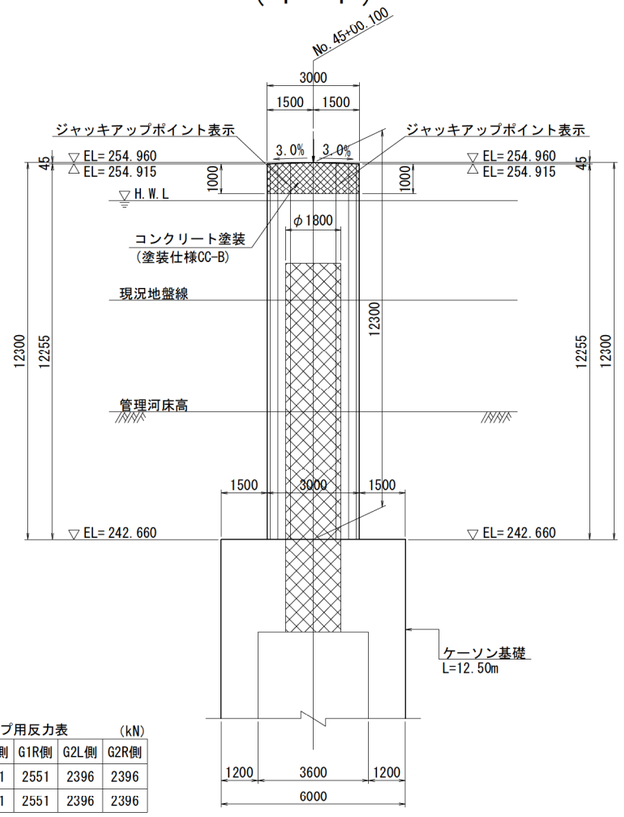


ジャッキアップ用反力表 (kN)

	G1L側	G1R側	G2L側	G2R側
P2(P1)	2551	2551	2396	2396
P2(P3)	2551	2551	2396	2396

※粘着シート位置、矢印の向きは、適宜調整のこと。

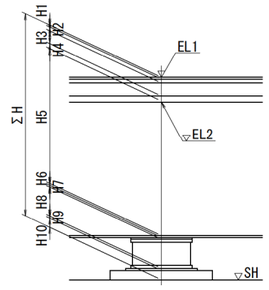
側 面 図 (1-1)



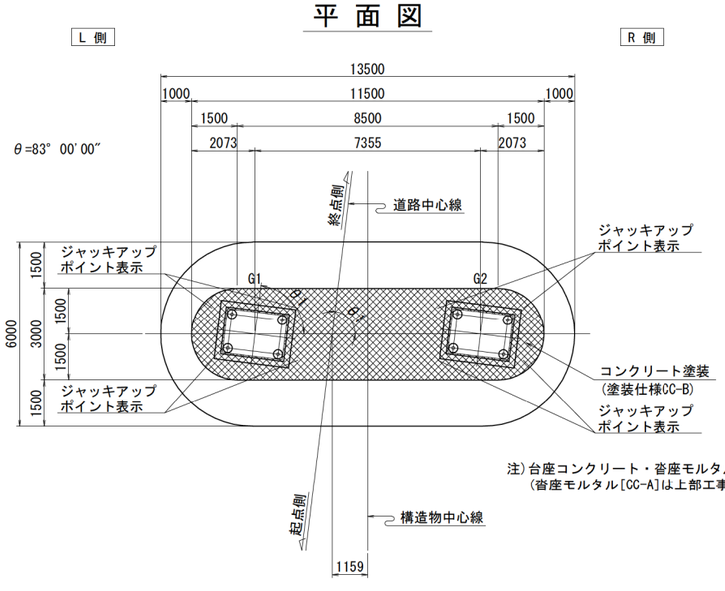
支点上構造高表

			P-2		
			G-1	CL	G-2
支承部座標	大座標系(世界測地系)	X	136,790.331	136,788.488	136,784.950
		Y	49,628.329	49,630.046	49,633.342
胸壁前面		FH	---	---	---
支点上 (mm)		EL1	258.339	258.389	258.321
舗装厚 (mm)		H1	80	---	30
均しコンクリート厚 (mm)		H2	---	---	62
床版厚 (mm)		H3	210	---	210
ハンチ高 (mm)		H4	110	---	80
腹板天端高		EL2	257.939	---	257.939
腹板高 (mm)		H5	2200	---	2200
下フランジ厚 (mm)		H6	33	---	31
ソールプレート厚 (mm)		H7	37	---	37
支承高 (mm)		H8	521	---	521
無収縮モルタル厚 (mm)		H9	30	---	30
台座高 (mm)		H10	158	---	160
構造高 (m)		ΣH	3.379	---	3.361
沓座天端高		SH	254.960	254.960	254.960

支点上構造高



平 面 図

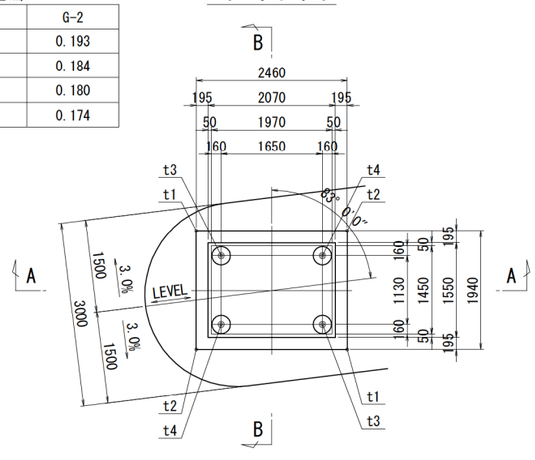


注)台座コンクリート・沓座モルタルも塗布すること。
(沓座モルタル[CC-A]は上部工事で塗布のこと。)

台座高表 (単位:m)

	G-1	G-2
t1	0.191	0.193
t2	0.182	0.184
t3	0.178	0.180
t4	0.172	0.174

平 面 図

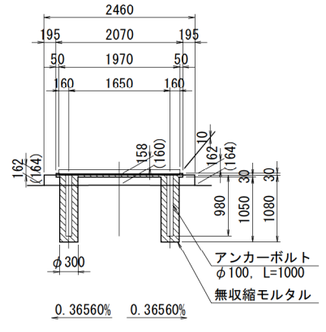


台座及び箱抜き詳細図

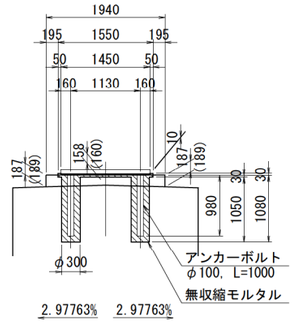
S=1:50

※( )内数値はG-2を示す。

A - A



B - B



材料強度・材質

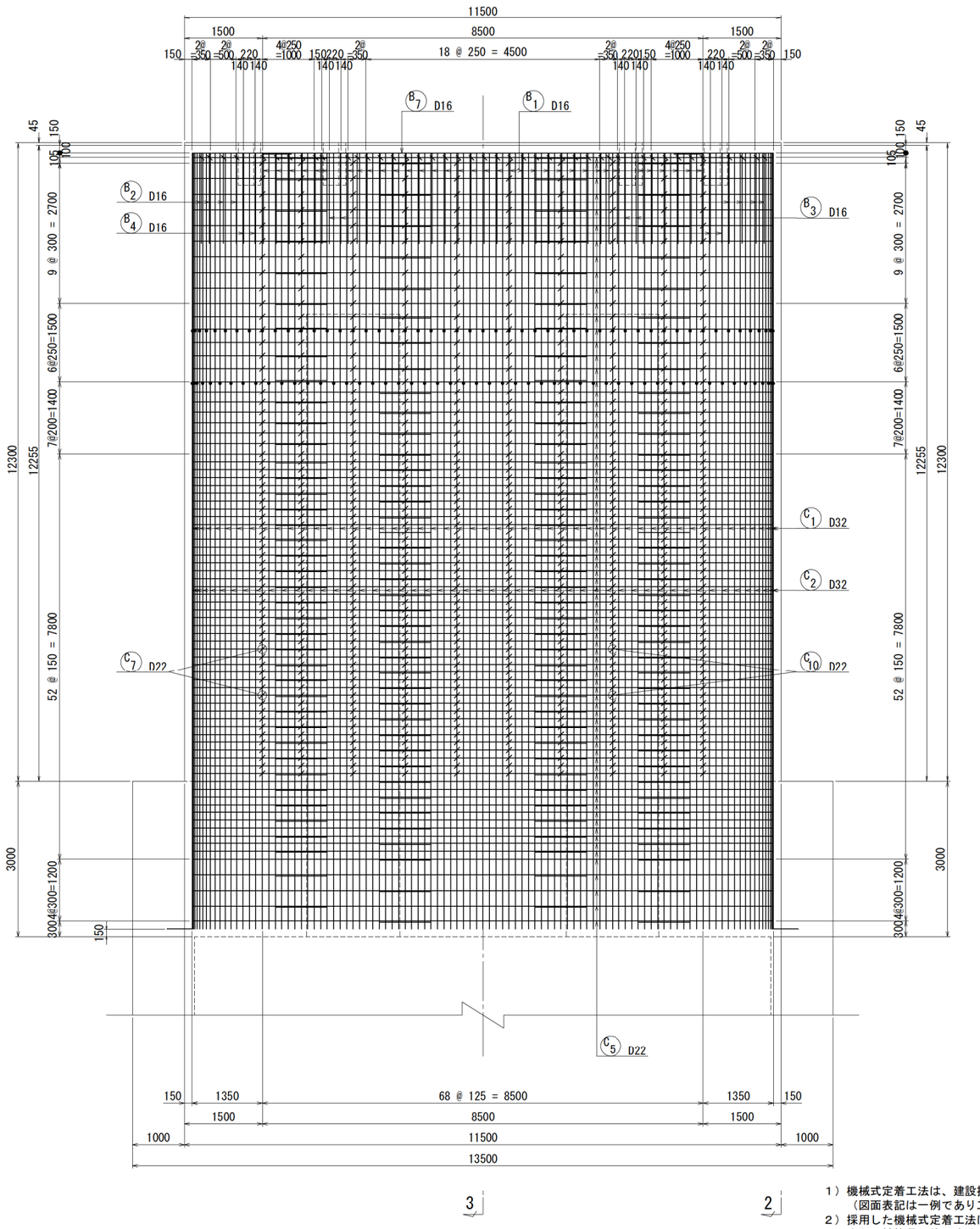
コンクリート	躯体・底版	σck=24N/mm2
	踏掛版	σck=24N/mm2
	均し	σck=18N/mm2
鉄筋		SD345

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚構造図
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図示 図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

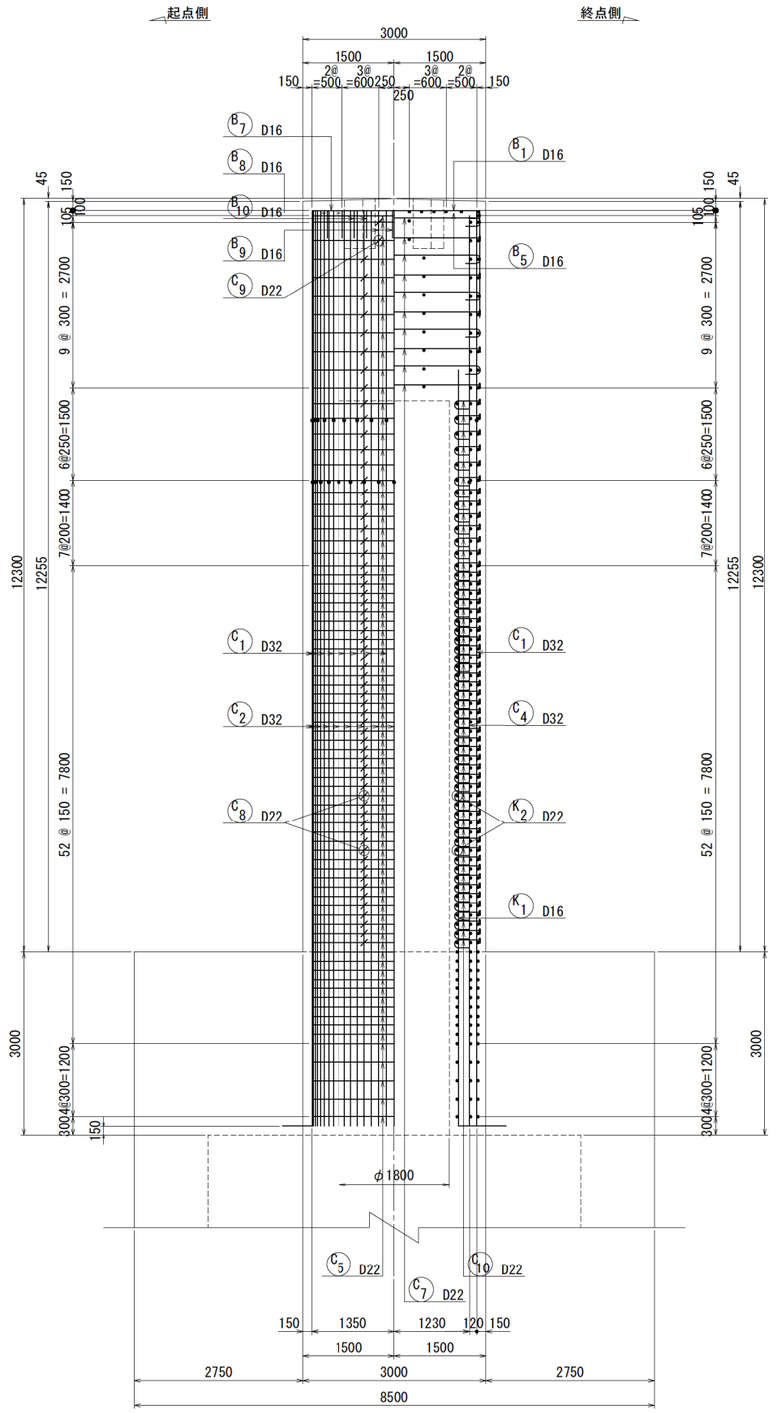
P-2橋脚配筋図（その1）

S=1:50

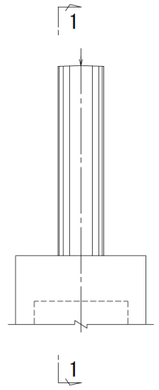
1 － 1



2 － 2　　3 － 3



位置図



1）機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
　（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
2）採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
　また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3）定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4）施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

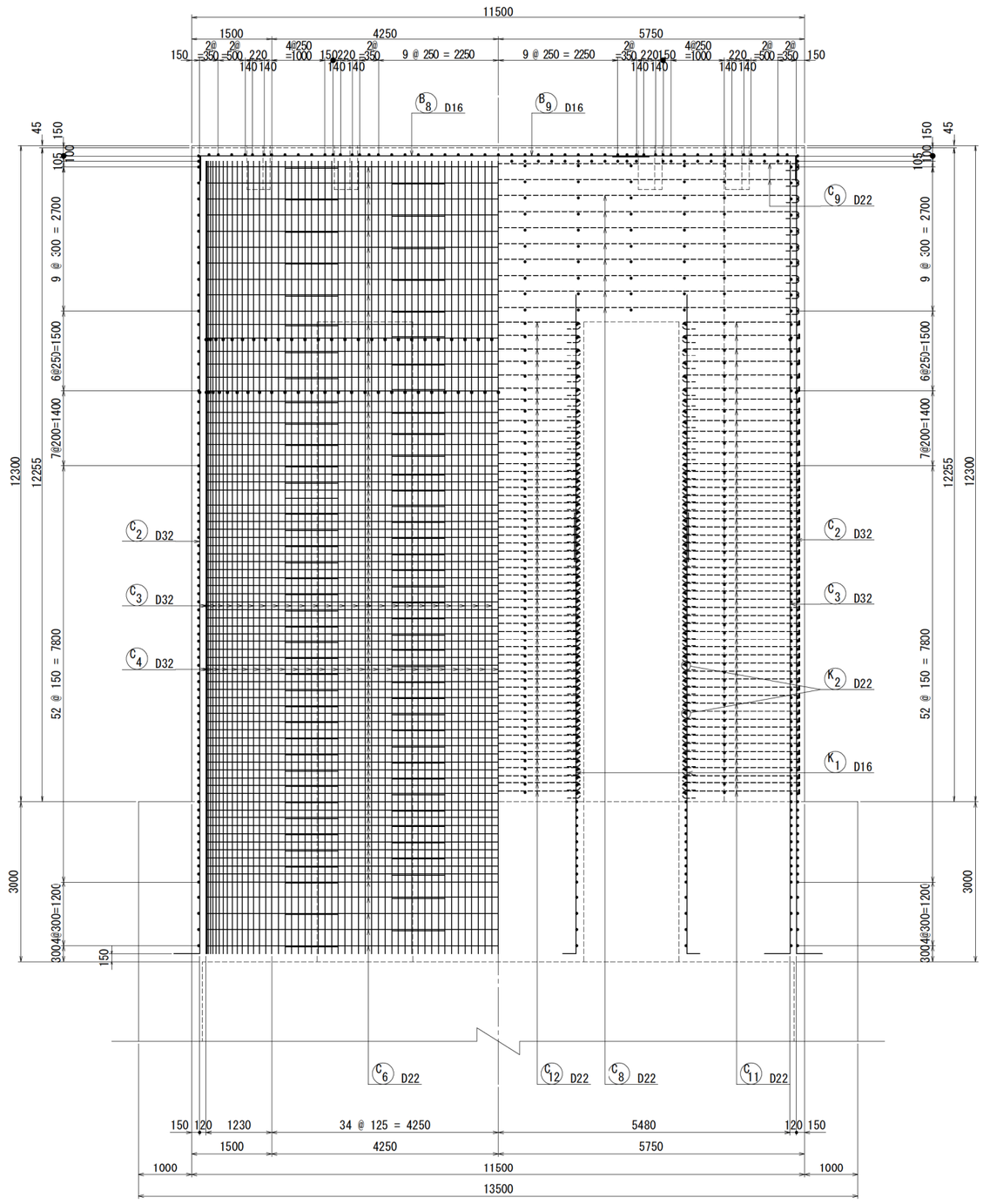
材料強度・材質

コンクリート	躯　体	σck=24N/mm2
鉄　筋		SD345

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図（その1）
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

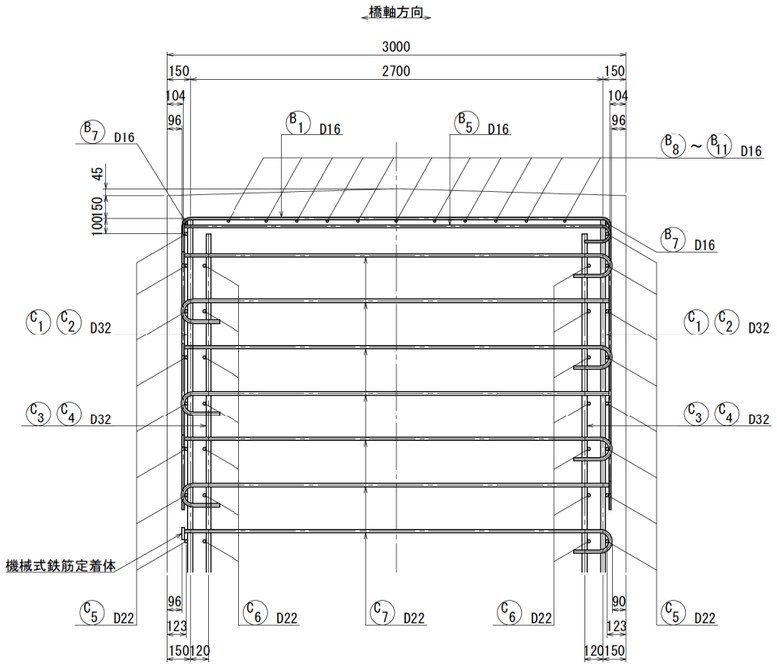
P-2橋脚配筋図（その2）

S=1:50



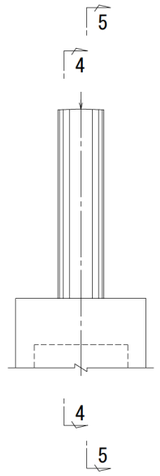
柱詳細図

S=1:20



注）中間帯鉄筋 C7 の半円形フックは、帯鉄筋に掛け千鳥配置にすること。

位置図



1）機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
2）採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3）定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4）施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

材料強度・材質

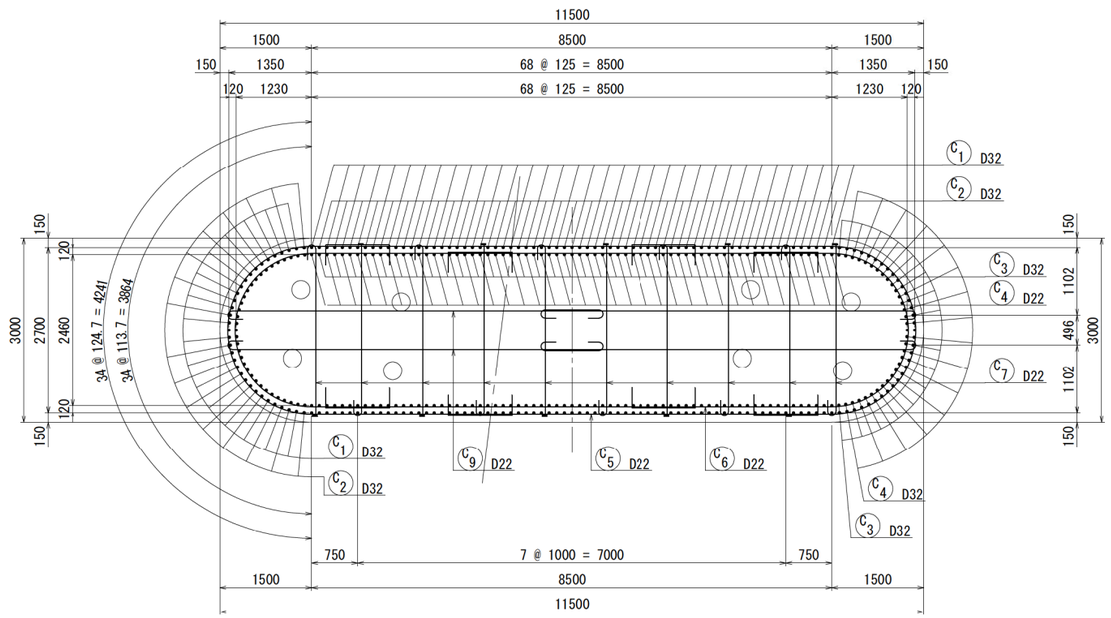
コンクリート	躯　体	σck=24N/mm2
鉄　筋		SD345

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図（その2）
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

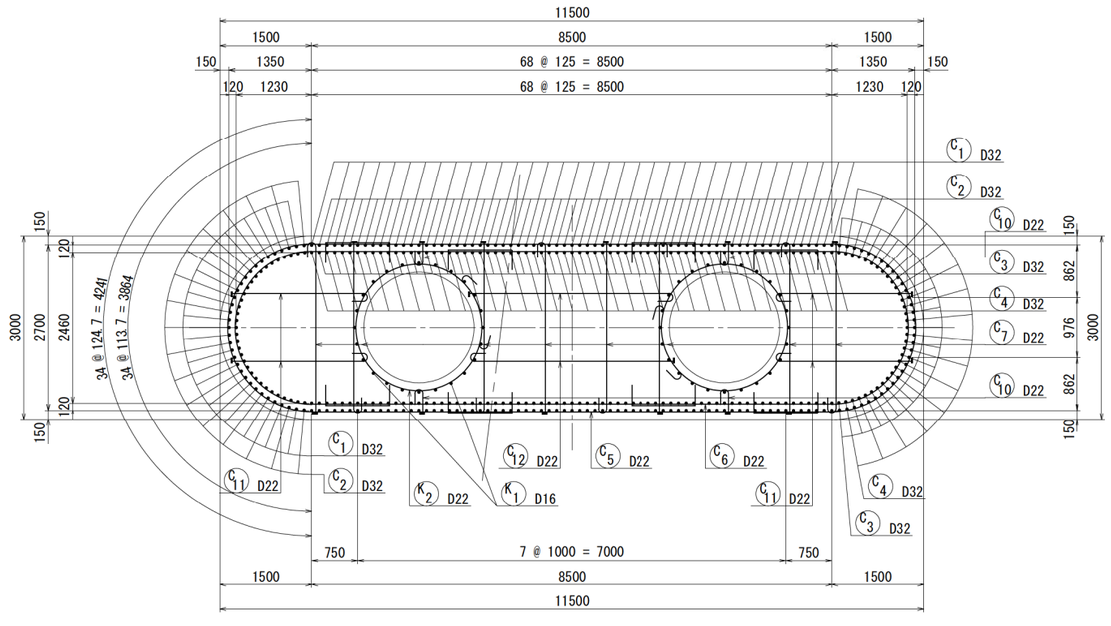
P-2橋脚配筋図（その3）

S=1:50

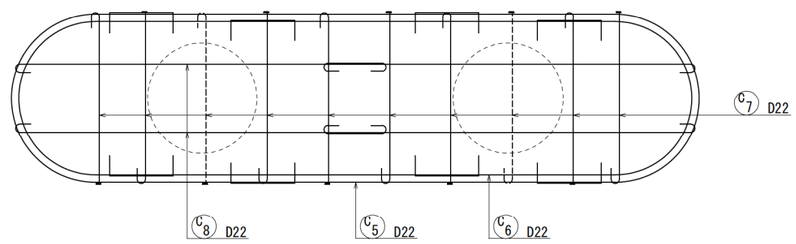
6 － 6



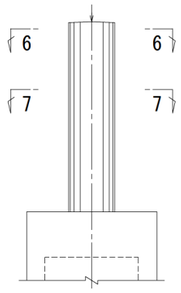
7 － 7



帯鉄筋組立図



位置図



1）機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
2）採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3）定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4）施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

材料強度・材質

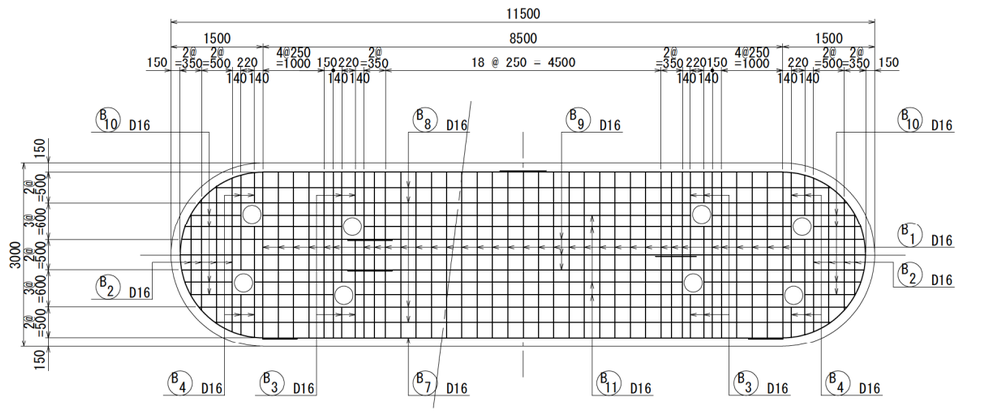
コンクリート	躯　体	σck=24N/mm2
鉄　筋		SD345

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図（その3）
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

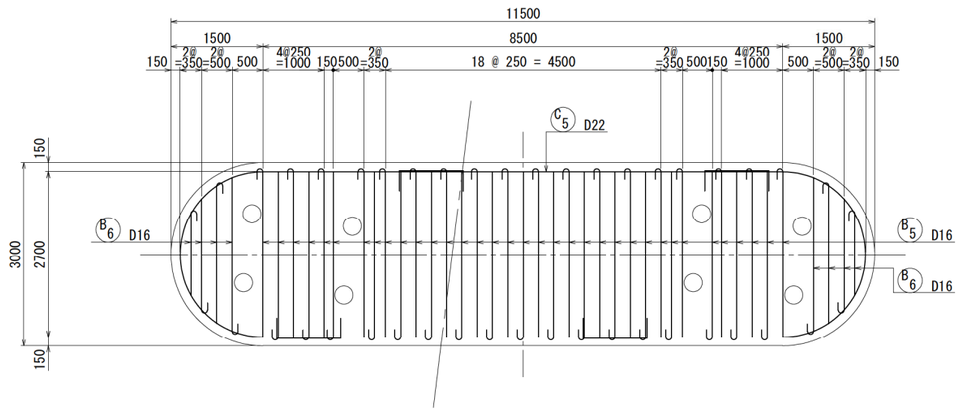
P-2橋脚配筋図（その4）

S=1:50

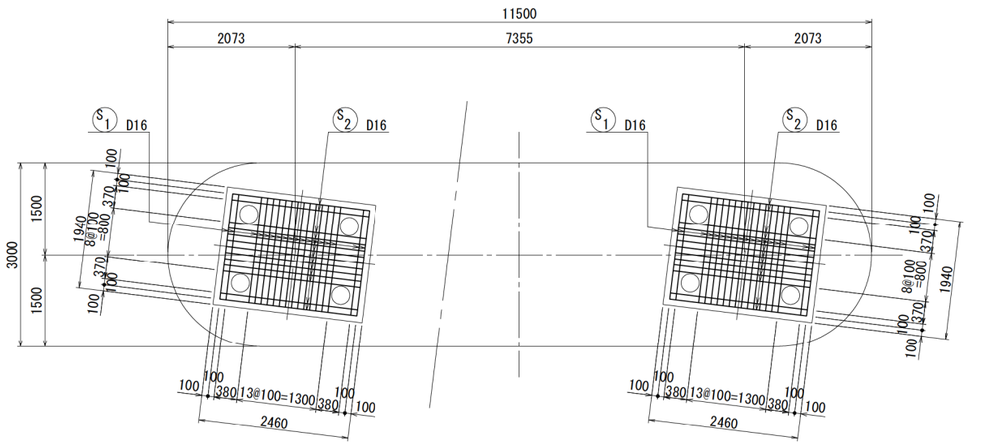
8 － 8

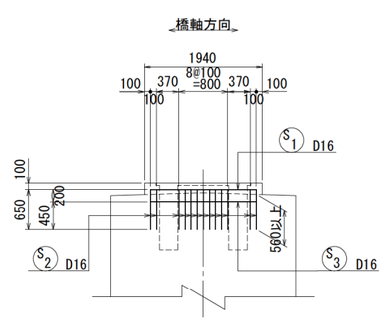


9 － 9

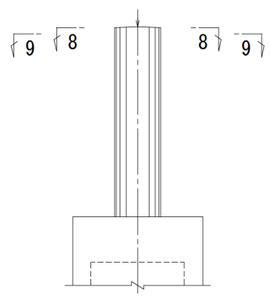


躯座配筋図





位置図



1）機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
2）採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3）定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4）施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

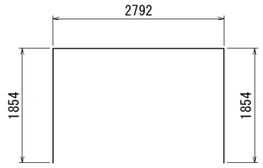
材料強度・材質

コンクリート	躯　体	σck=24N/mm2
鉄　筋		SD345

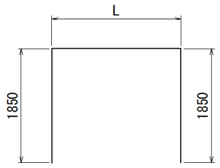
工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図（その4）
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

P-2橋脚配筋図（その5）

S=1:50

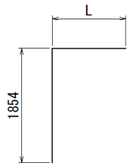


B1 35-D16 X 6500



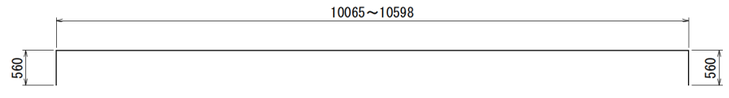
B2 8-D16 X 5810（平均長）

	径	本数	L
1	D16	2	1508
2	D16	2	1948
3	D16	2	2355
4	D16	2	2607
合計		8	16836
平均長			2105

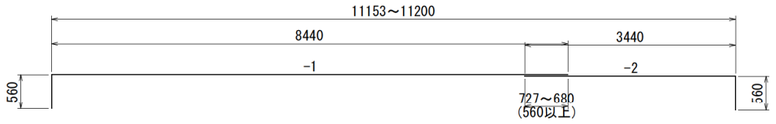


B3 8-D16 X 3050（平均長）

	径	本数	L
1	D16	2	546
2	D16	2	746
3	D16	2	1646
4	D16	2	1846
合計		8	9568
平均長			1196

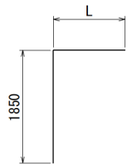


B8 4-D16 X 11460（平均長）



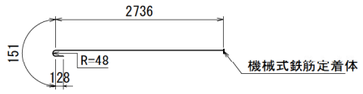
B9-1 3-D16 X 9000

B9-2 3-D16 X 4000

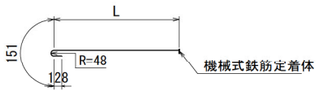


B4 8-D16 X 3020（平均長）

	径	本数	L
1	D16	2	539
2	D16	2	699
3	D16	2	1599
4	D16	2	1839
合計		8	9352
平均長			1169

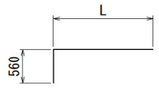


B5 35-D16 X 3020



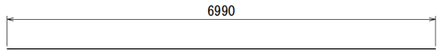
B6 8-D16 X 2330（平均長）

	径	本数	L
1	D16	2	1438
2	D16	2	1885
3	D16	2	2296
4	D16	2	2550
合計		8	16338
平均長			2042

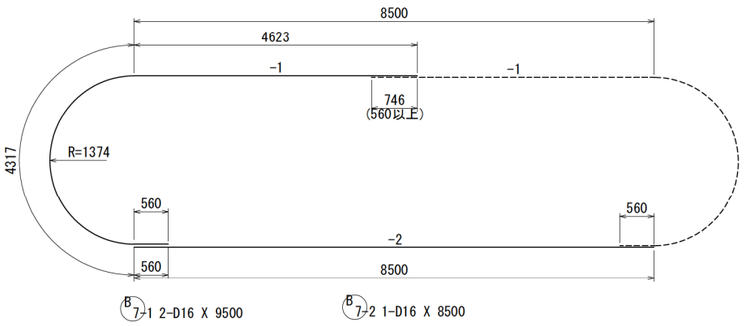


B10 8-D16 X 2190（平均長）

	径	本数	L
1	D16	2	773
2	D16	2	823
3	D16	2	2333
4	D16	2	2563
合計		8	12984
平均長			1623

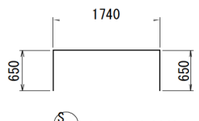


B11 4-D16 X 6990

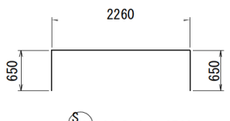


B7-1 2-D16 X 9500

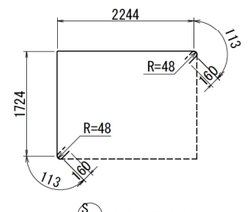
B7-2 1-D16 X 8500



S1 36-D16 X 3040



S2 26-D16 X 3560



S3 4-D16 X 4520

1）機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
2）採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3）定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4）施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

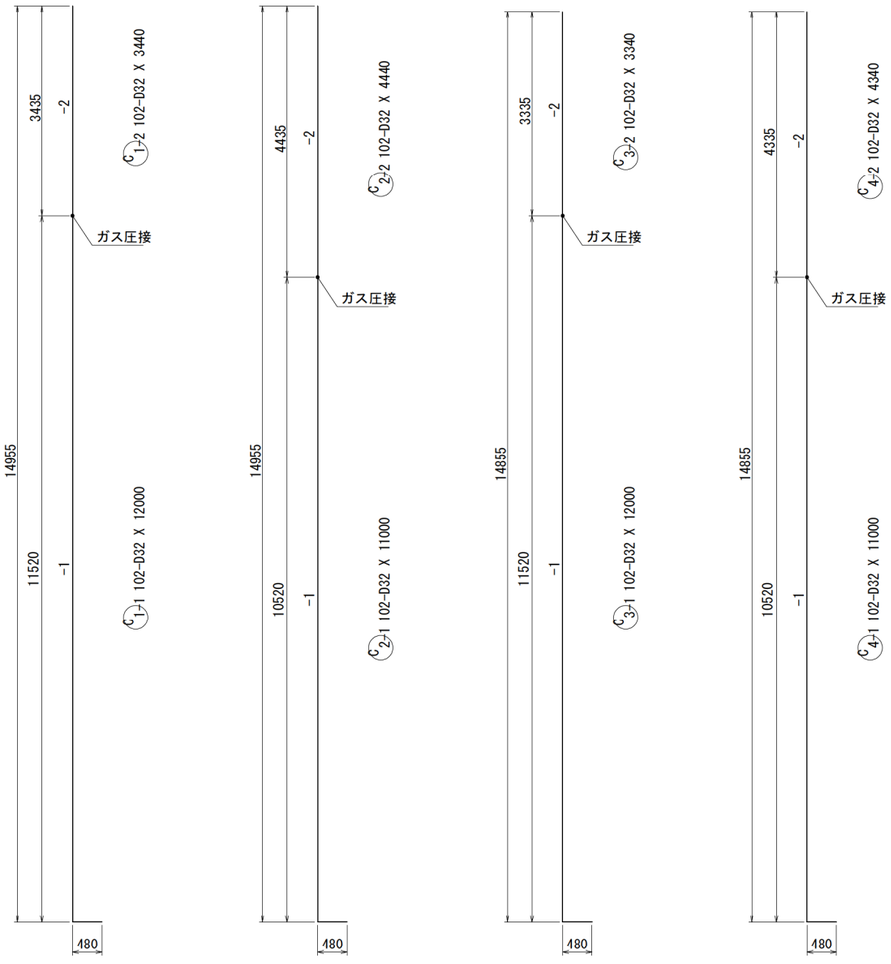
材料強度・材質

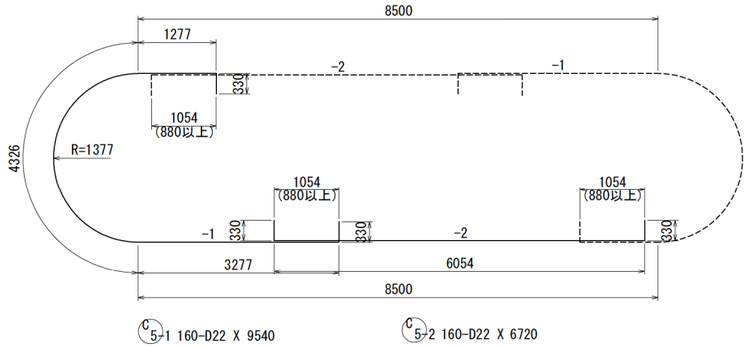
コンクリート	躯　体	σck=24N/mm2
鉄　筋		SD345

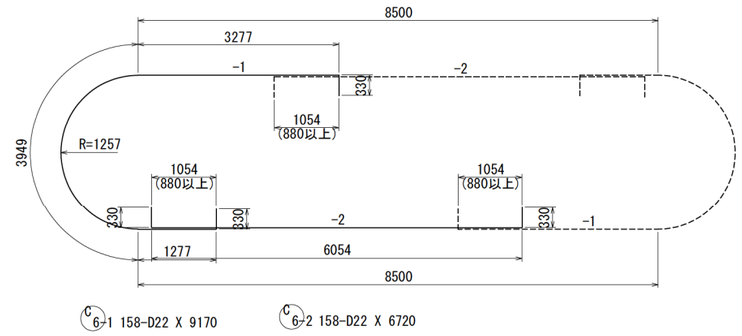
工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図（その5）
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

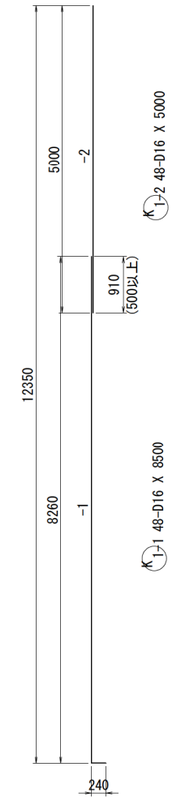
P-2橋脚配筋図（その6）

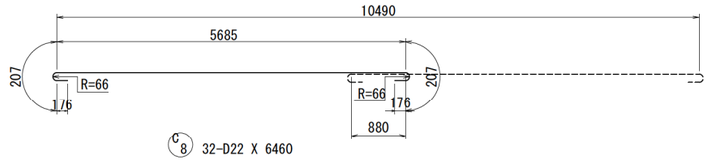
S=1:50

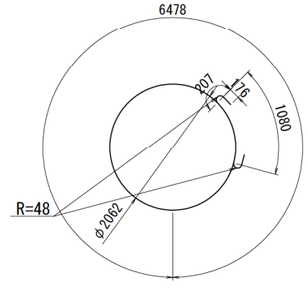


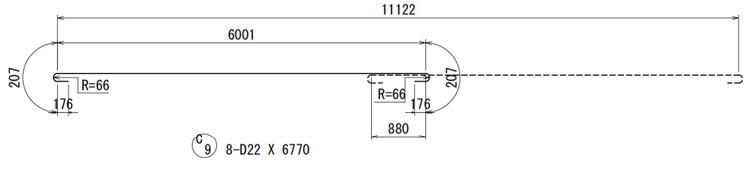


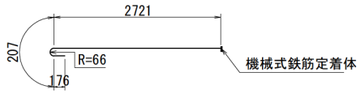


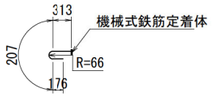


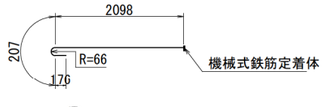


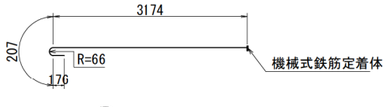












1）機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
2）採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3）定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4）施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

材料強度・材質

コンクリート	躯　体	σck=24N/mm2
鉄　筋		SD345

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図（その6）		
作成年月日	令和 6年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

P-2橋脚配筋図(その7)

鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
B 1	D16	6500	35	1.56	10.14	355	
B 2	D16	5810	8	1.56	9.06	72	(平均長)
B 3	D16	3050	8	1.56	4.76	38	(平均長)
B 4	D16	3020	8	1.56	4.71	38	(平均長)
B 5	D16	3020	35	1.56	4.71	165	
B 6	D16	2330	8	1.56	3.63	29	(平均長)
B 7-1	D16	9500	2	1.56	14.82	30	
B 7-2	D16	8500	1	1.56	13.26	13	
B 8	D16	11460	4	1.56	17.88	72	(平均長)
B 9-1	D16	9000	3	1.56	14.04	42	
B 9-2	D16	4000	3	1.56	6.24	19	
B 10	D16	2190	8	1.56	3.42	27	(平均長)
B 11	D16	6990	4	1.56	10.90	44	
						944	
S 1	D16	3040	36	1.56	4.74	171	
S 2	D16	3560	26	1.56	5.55	144	
S 3	D16	4520	4	1.56	7.05	28	
						343	
C 1-1	D32	12000	102	6.23	74.76	7626	(102)
C 1-2	D32	3440	102	6.23	21.43	2186	
C 2-1	D32	11000	102	6.23	68.53	6990	(102)
C 2-2	D32	4440	102	6.23	27.66	2821	
C 3-1	D32	12000	102	6.23	74.76	7626	(102)
C 3-2	D32	3340	102	6.23	20.81	2123	
C 4-1	D32	11000	102	6.23	68.53	6990	(102)
C 4-2	D32	4340	102	6.23	27.04	2758	
C 5-1	D22	9540	160	3.04	29.00	4640	
C 5-2	D22	6720	160	3.04	20.43	3269	
C 6-1	D22	9170	158	3.04	27.88	4405	
C 6-2	D22	6720	158	3.04	20.43	3228	
C 7	D22	3110	532	3.04	9.45	5027	
C 8	D22	6710	32	3.04	20.40	653	
C 9	D22	6770	8	3.04	20.58	165	
C 10	D22	700	216	3.04	2.13	460	
C 11	D22	2490	216	3.04	7.57	1635	
C 12	D22	3560	108	3.04	10.82	1169	
						63771	
K 1-1	D16	8500	48	1.56	13.26	636	
K 1-2	D16	5000	48	1.56	7.80	374	
K 2	D22	8330	138	3.04	25.32	3494	○
						4504	
						(圧接箇所)	
		合 計 D32		39120 kg		(408)	
		D22		28145 kg			
		D16		2297 kg			
		(SD345)総質量		69562 kg		(408)	

機械式定着工法数量表 (箇所数)

鉄筋長(L)	0<L≦1m	1<L≦2m	2<L≦3m	3<L≦4m	4<L≦5m	5<L≦6m
D13	—	—	—	—	—	—
D16	—	—	8	35	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	216	—	216	640	—	—
D25	—	—	—	—	—	—
小 計	216	—	224	675	—	—
合 計						1115

1) 機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。
(図面表記は一例であり工法を指定するものではない)
2) 採用した機械式定着工法によってかぶりが変わるため、規定のかぶりが確保できていることを確認すること。
また、鉄筋長は使用する工法の定着体に合わせて算出すること。
3) 定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
4) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

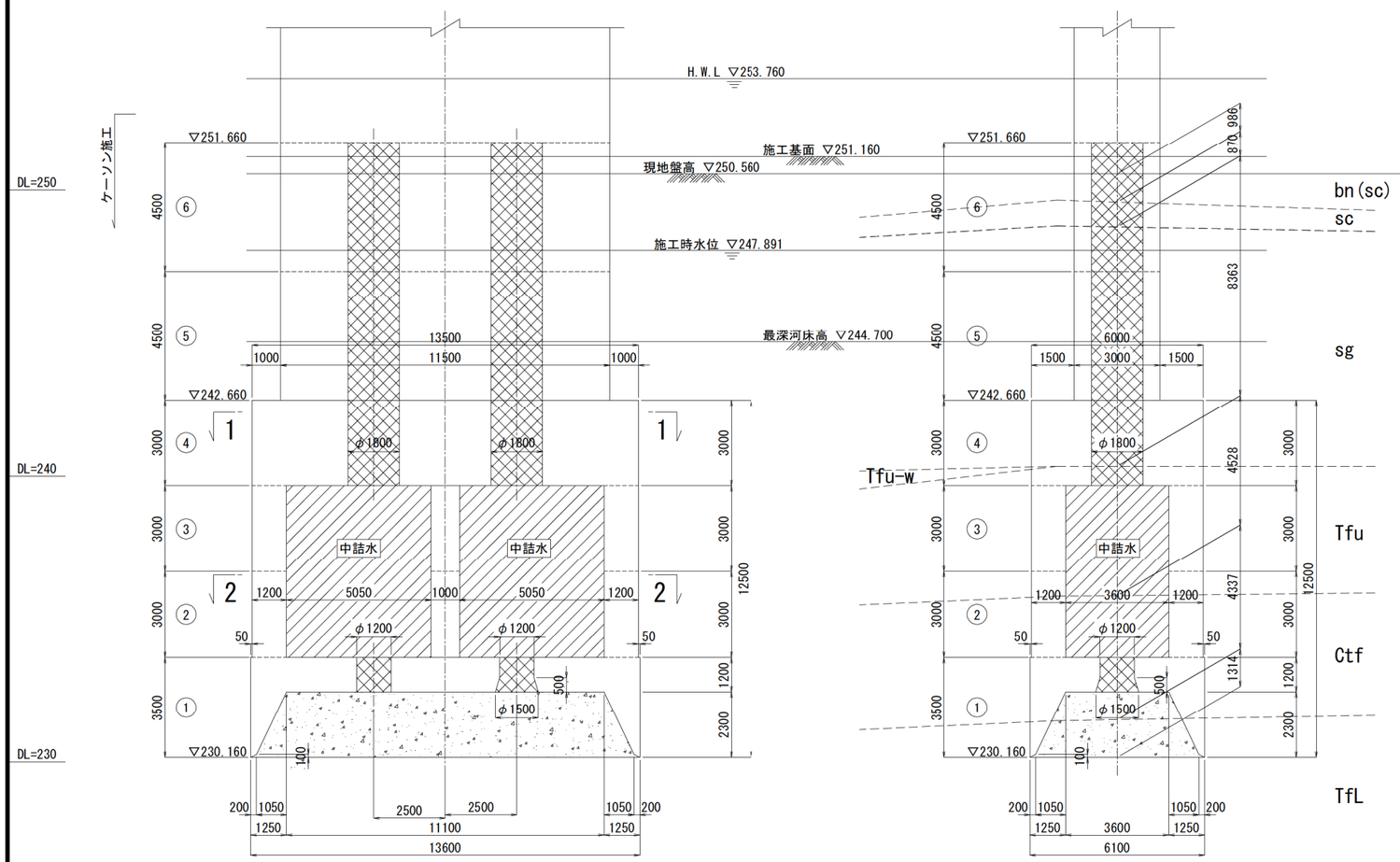
材料強度・材質

コンクリート	躯 体	σck=24N/mm2
鉄 筋		SD345

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚配筋図(その7)
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

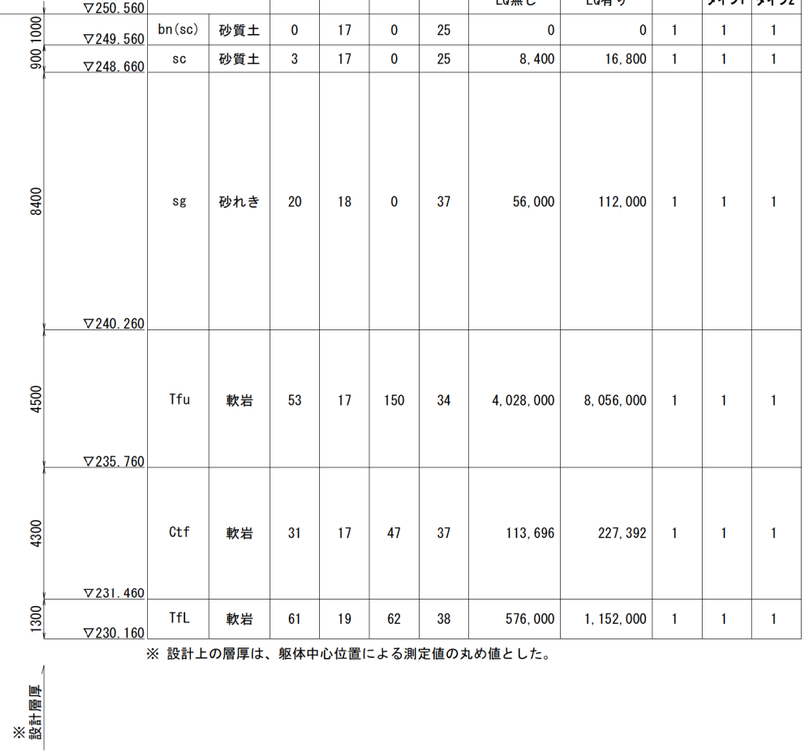
成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎構造図 S=1:100

正面図



側面図

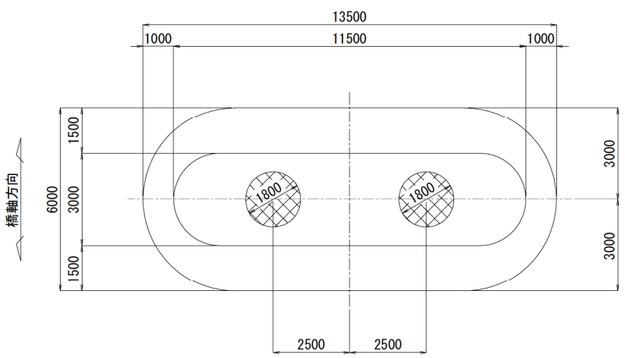
土質条件一覧



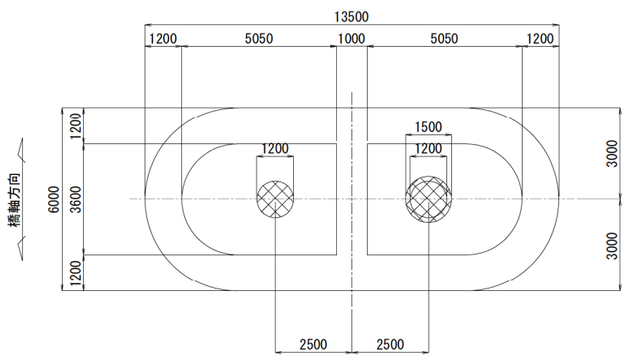
地層区分		N 値	γ (kN/m³)	C (kN/m²)	φ (度)	αE0 (kN/m²) EQ無し	αE0 (kN/m²) EQ有り	低減係数 レベル1	低減係数 レベル2 タイプ1	低減係数 レベル2 タイプ2
bn(sc)	砂質土	0	17	0	25	0	0	1	1	1
sc	砂質土	3	17	0	25	8,400	16,800	1	1	1
sg	砂れき	20	18	0	37	56,000	112,000	1	1	1
Tfu	軟岩	53	17	150	34	4,028,000	8,056,000	1	1	1
Ctf	軟岩	31	17	47	37	113,696	227,392	1	1	1
TfL	軟岩	61	19	62	38	576,000	1,152,000	1	1	1

※ 設計上の層厚は、躯体中心位置による測定値の丸め値とした。

1 － 1



2 － 2



設計条件表

コンタクトグラウト		使用する
沈下促進工	滑材	未定
	沈下水荷重	未定

使用材料一覧表

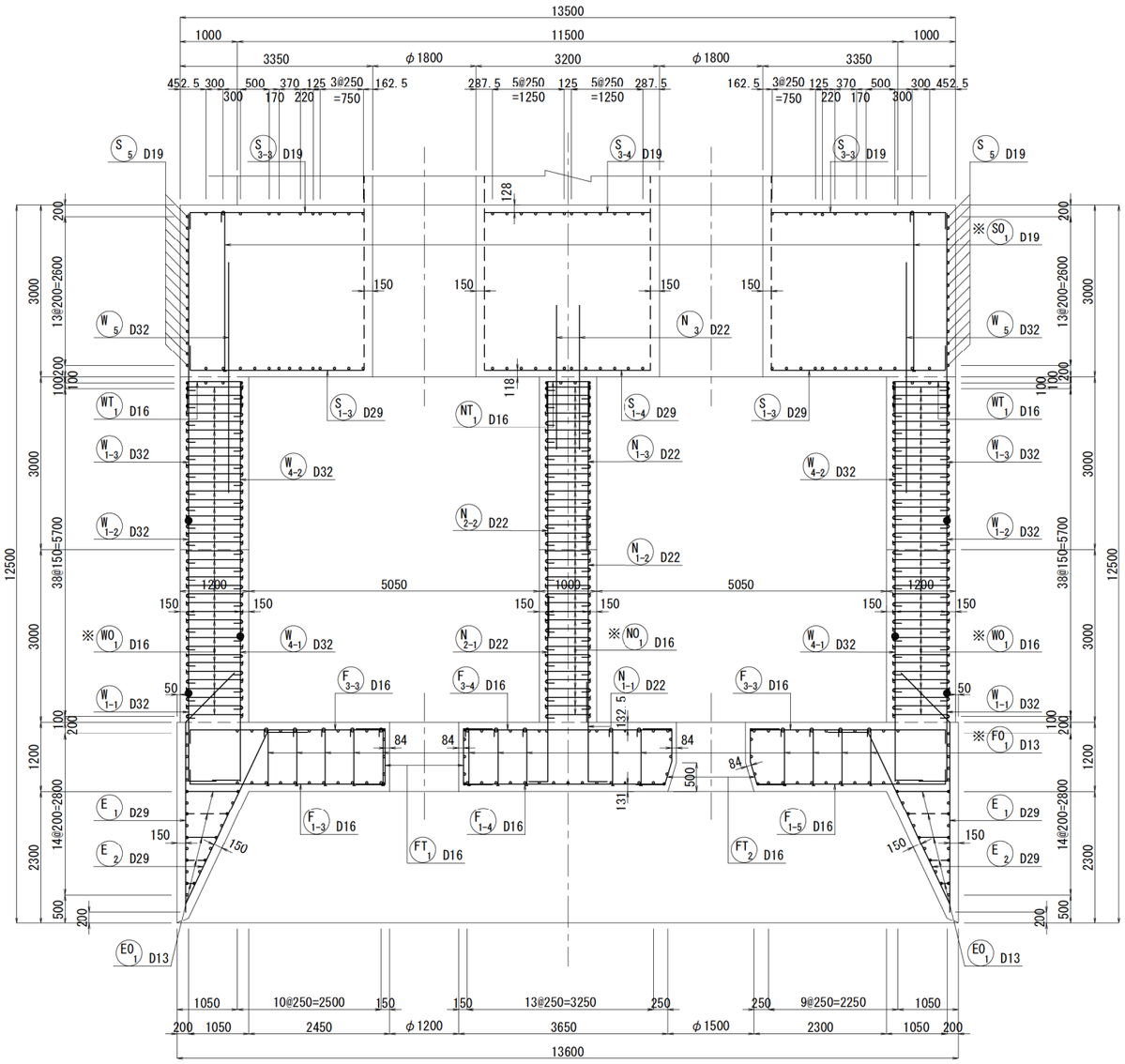
使用区分	コンクリート 設計基準強度	鉄筋種別 主鉄筋	鉄筋種別 その他
頂版	σck=24N/mm²	SD345	SD345
頂版以外	σck=24N/mm²	SD345	SD345
頂　版　中埋め	σck=24N/mm²	―	―
作業室　中詰め	σck=24N/mm²	―	―
作業室　中埋め	σck=18N/mm²	―	―

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎構造図		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その1)

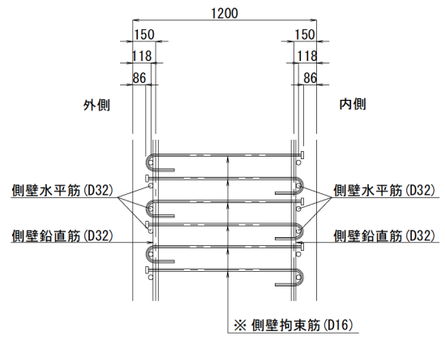
S=1:50

1 - 1

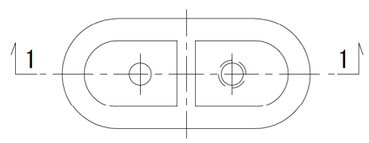


かぶり詳細図 S=1:20

側壁



位置図



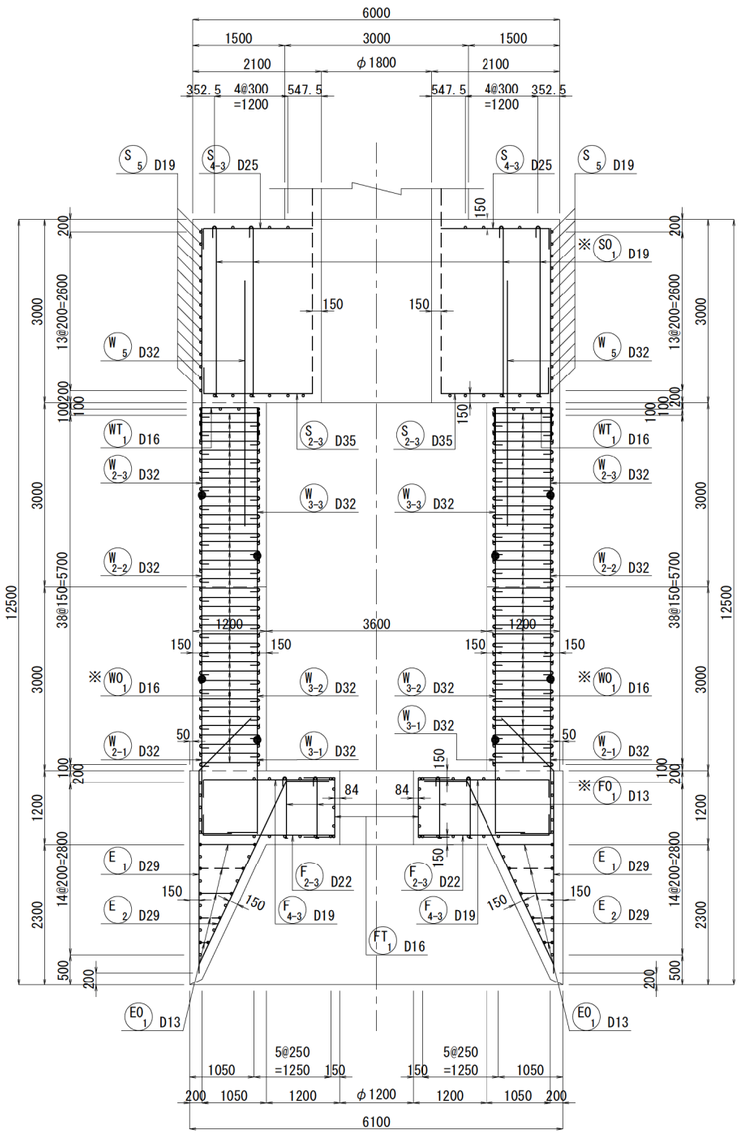
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

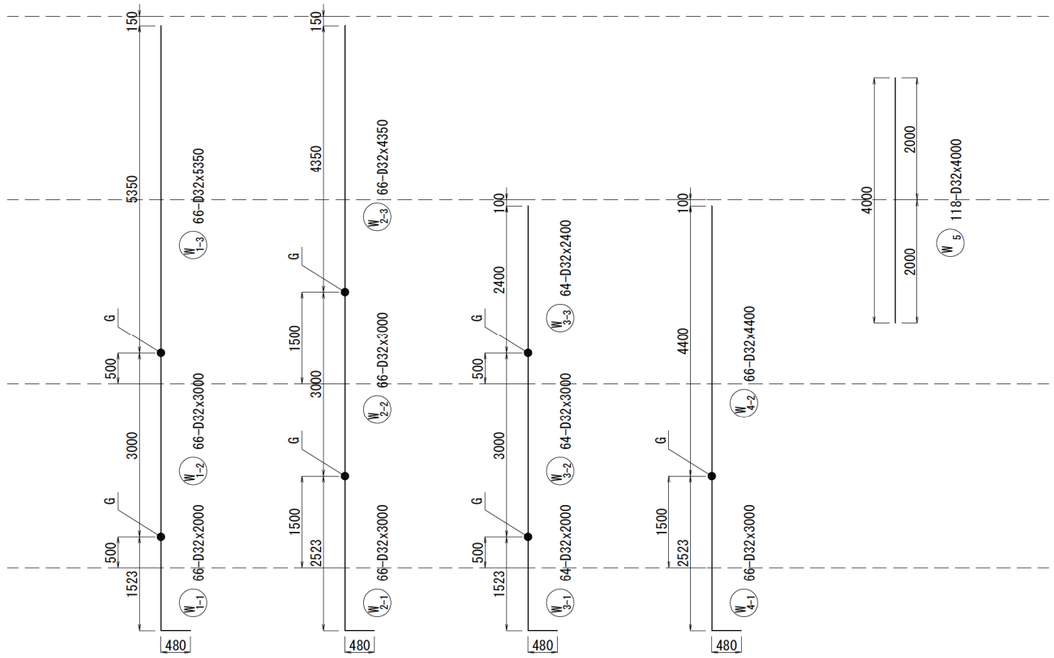
工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その1)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その2)

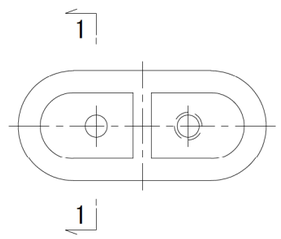
S=1:50

1 - 1





位置図

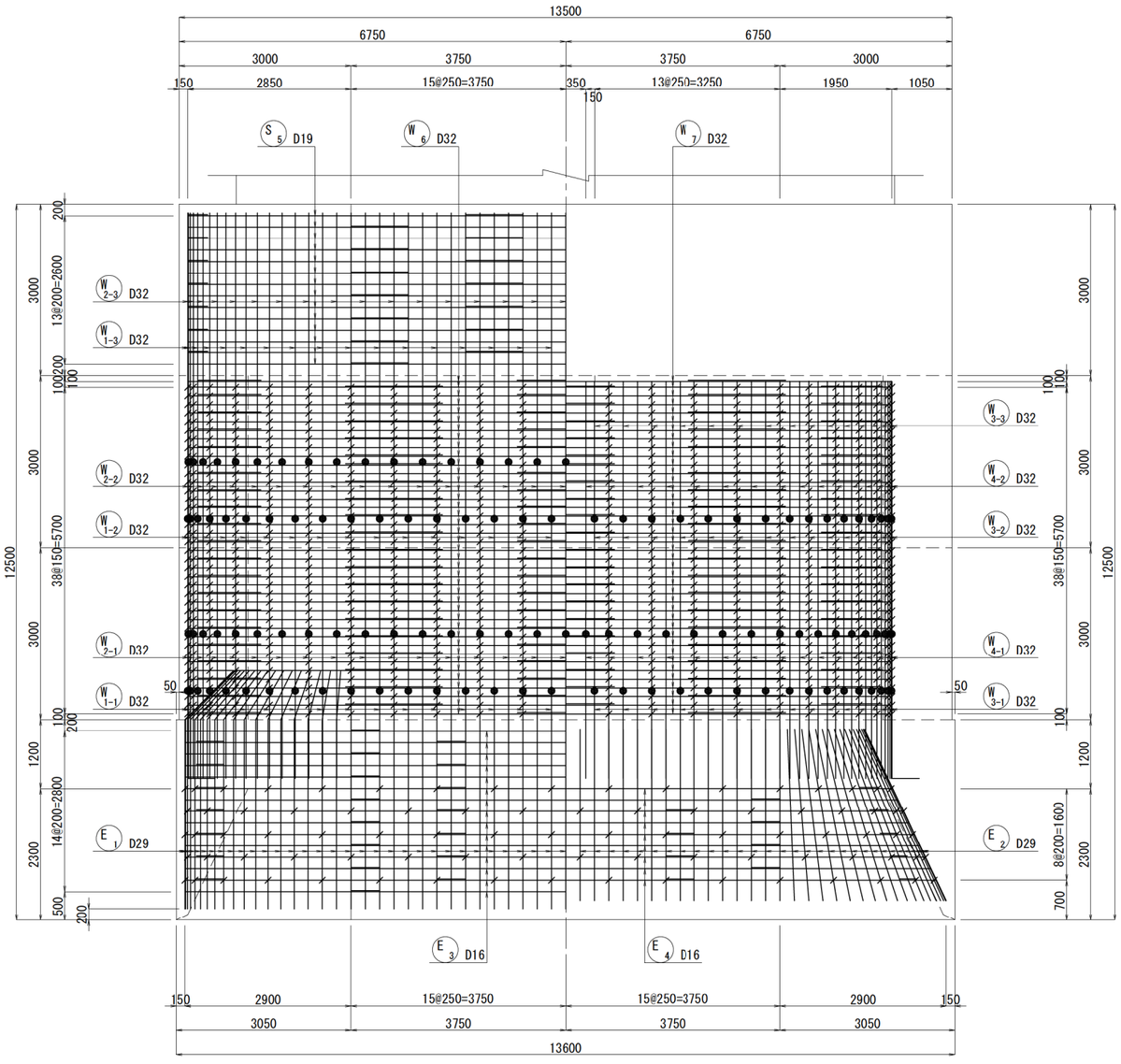


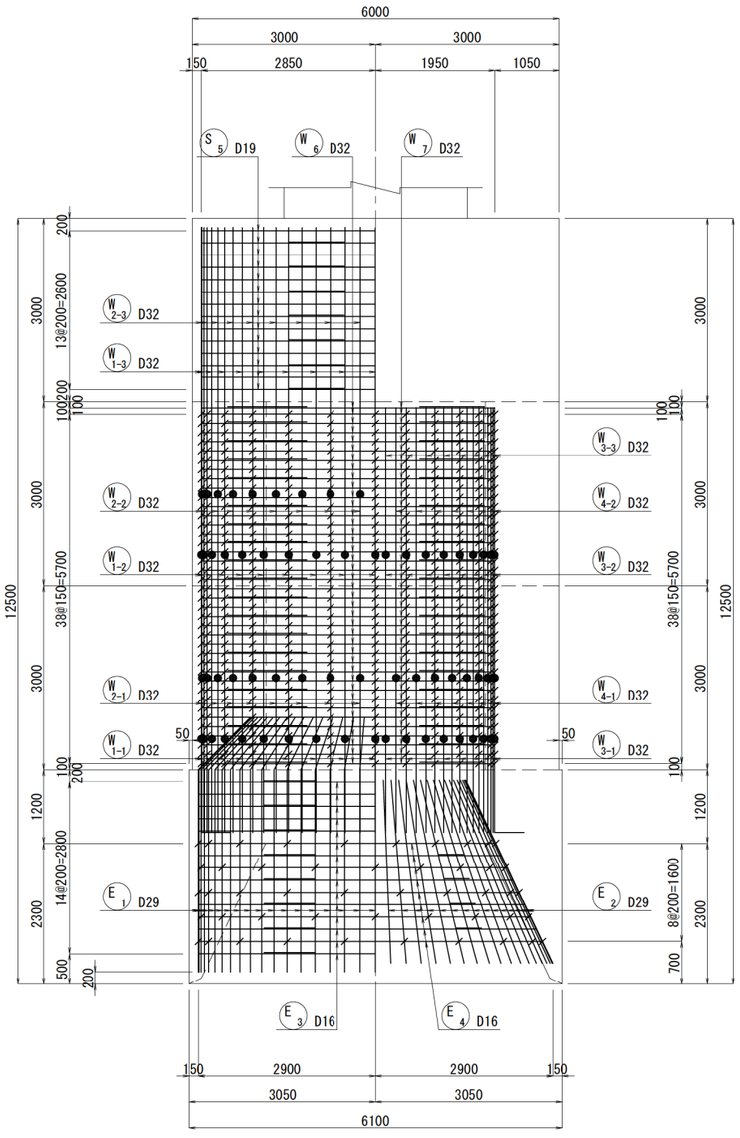
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その2)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

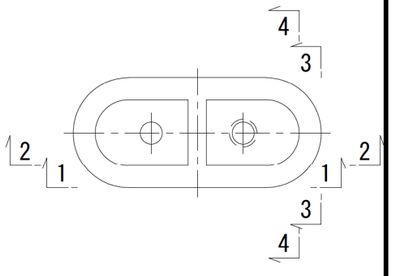
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その3)

S=1:50





位置図

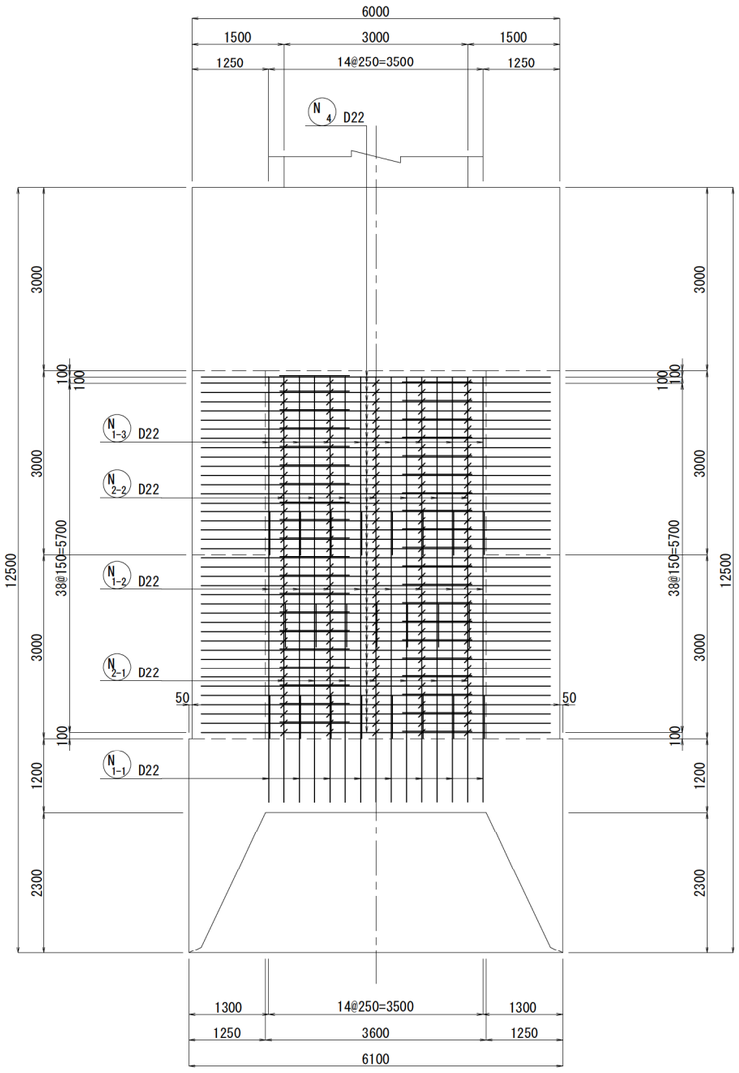


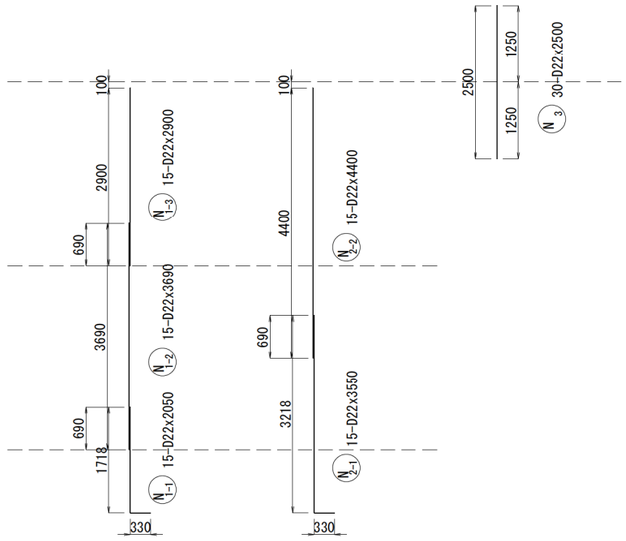
工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その3)
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その4)

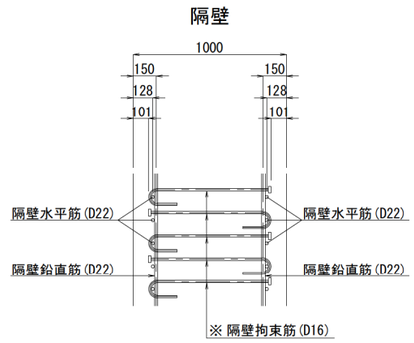
S=1:50

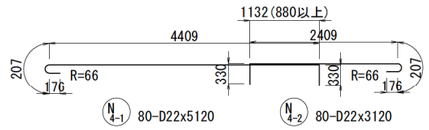
1 - 1

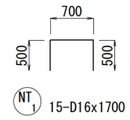


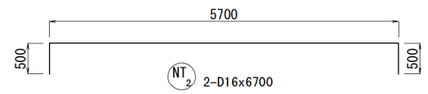


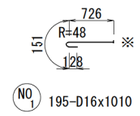
かぶり詳細図 S=1:20



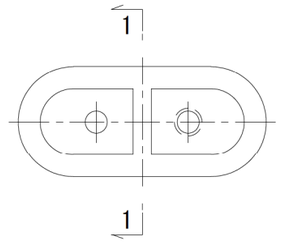








位置図



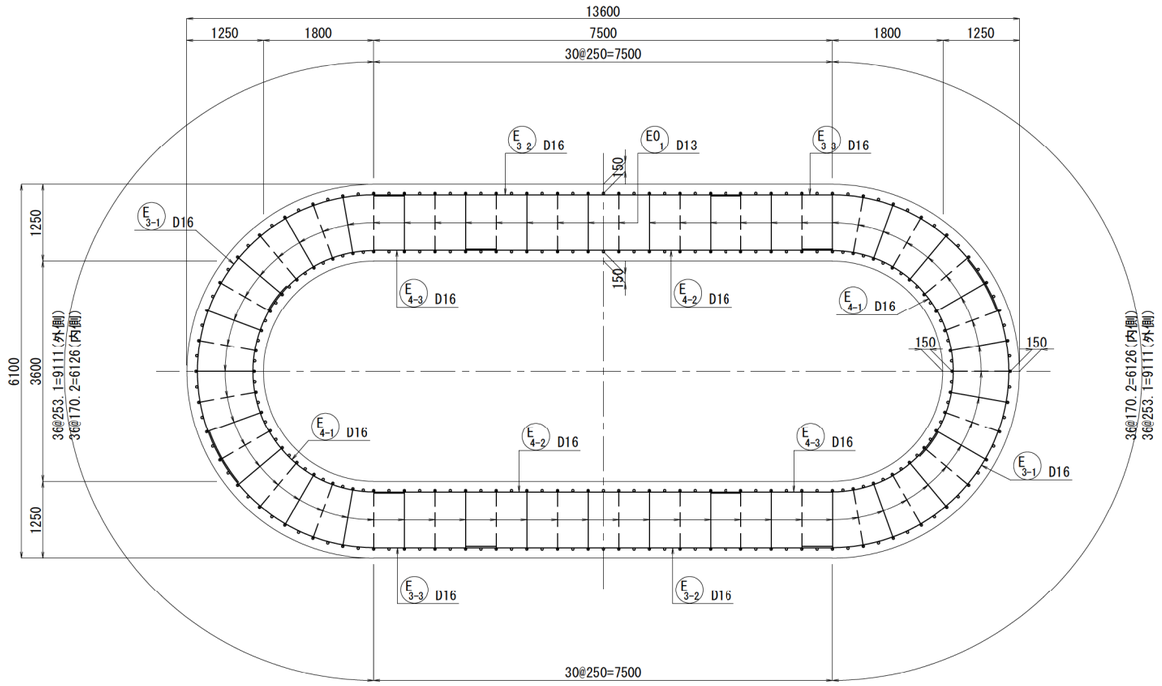
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

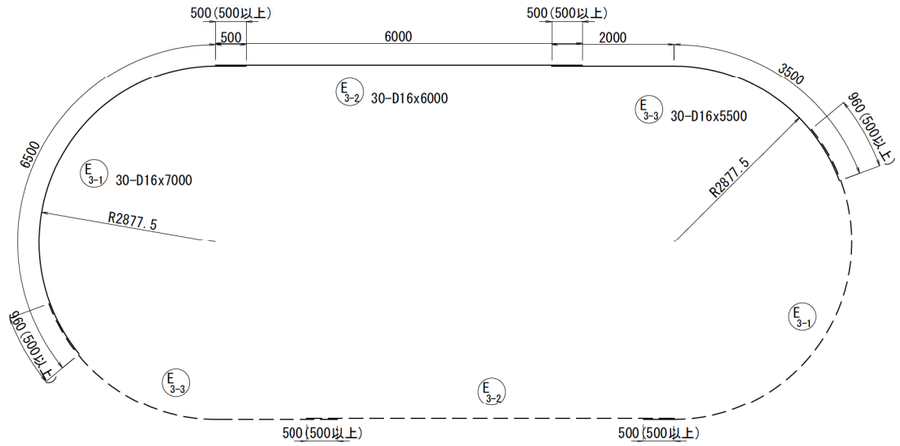
工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その4)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

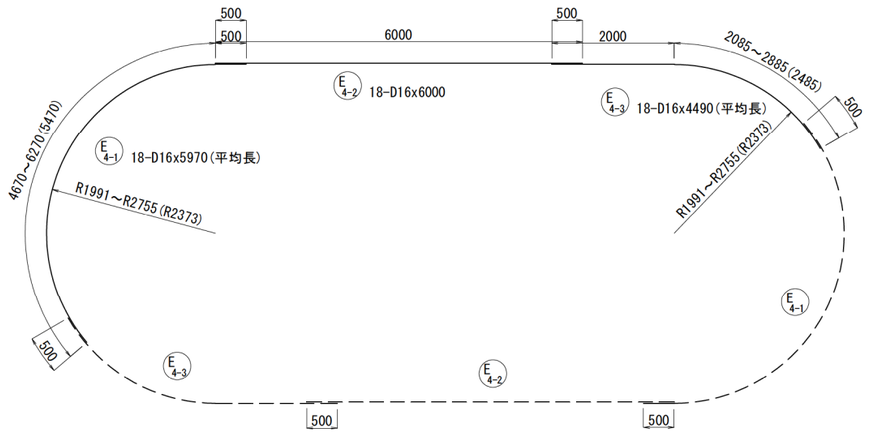
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その5)

S=1:50

1 - 1

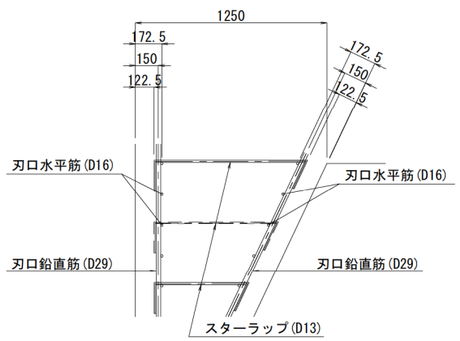


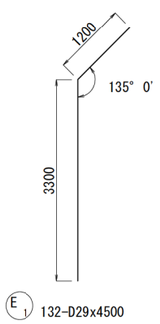




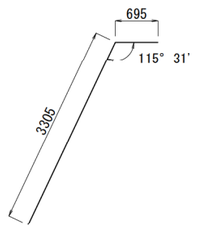
かぶり詳細図 S=1:20

刃口

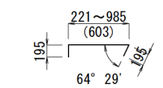




E1 132-D29x4500

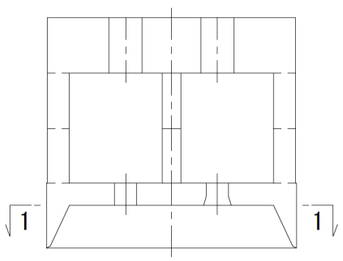


E2 132-D29x4000



EO1 165-D13x990(平均長)

位置図

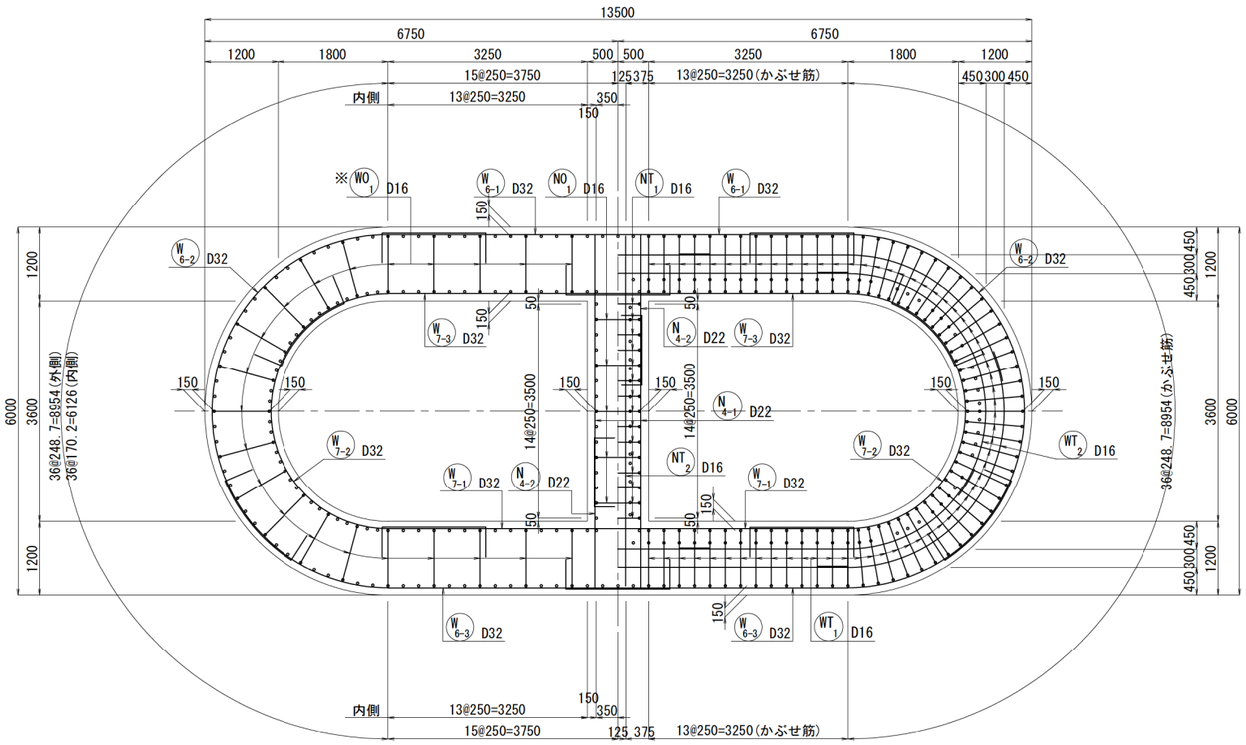


工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その5)
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

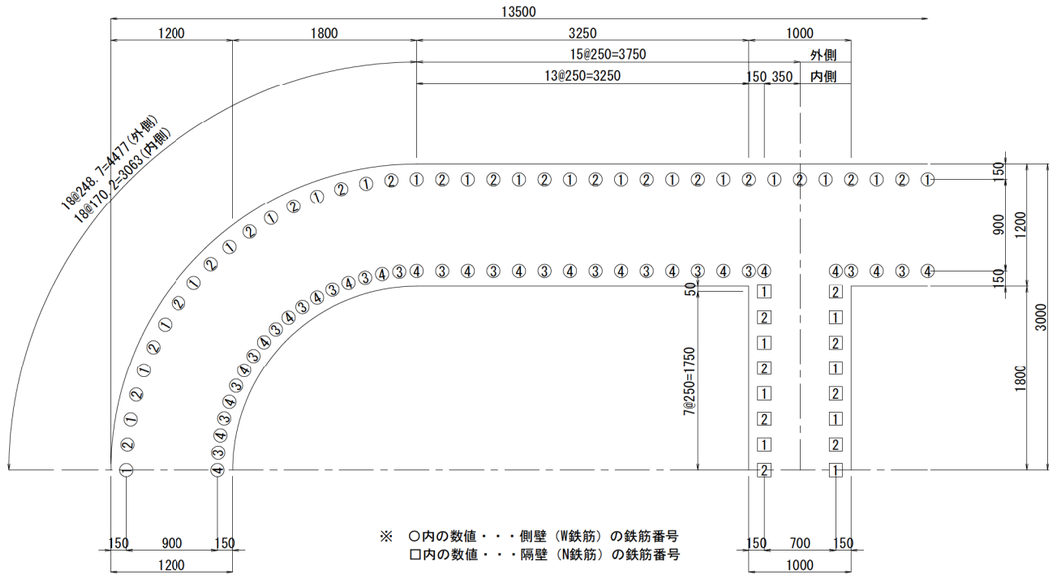
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その6)

S=1:50

1 － 1　　2 － 2

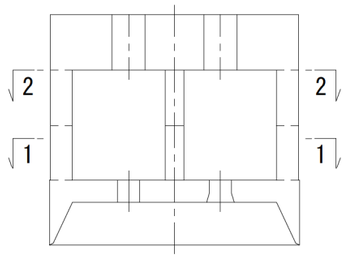


側壁部鉄筋配置図　S=1:30



※　○内の数値・・・側壁（W鉄筋）の鉄筋番号
　　□内の数値・・・隔壁（N鉄筋）の鉄筋番号

位置図

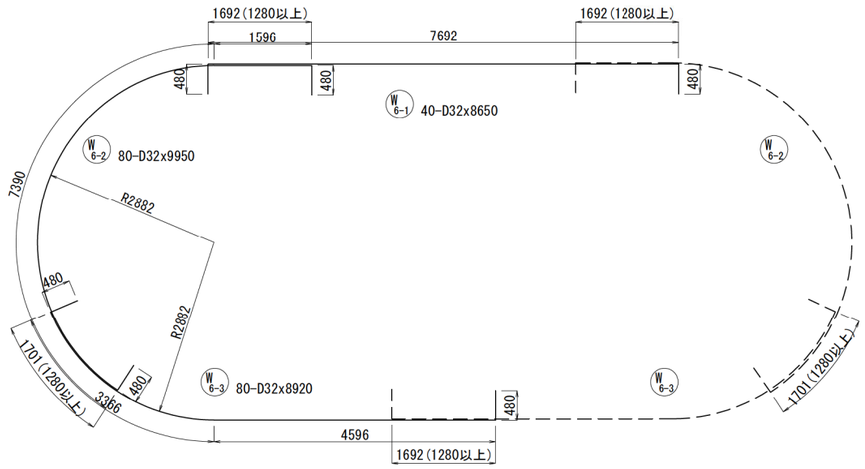


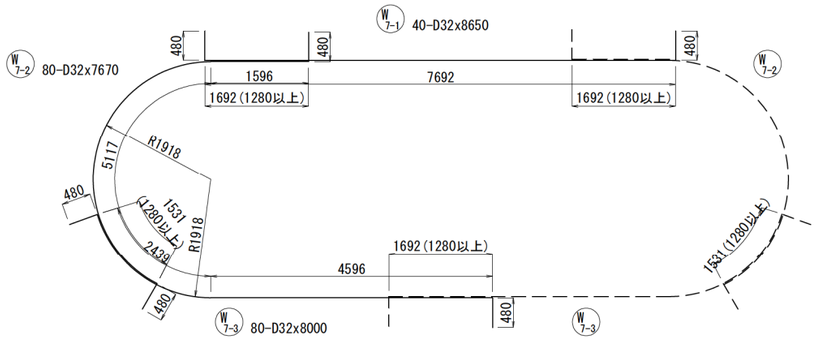
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

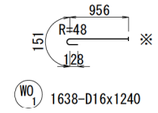
工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その6)
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その7)

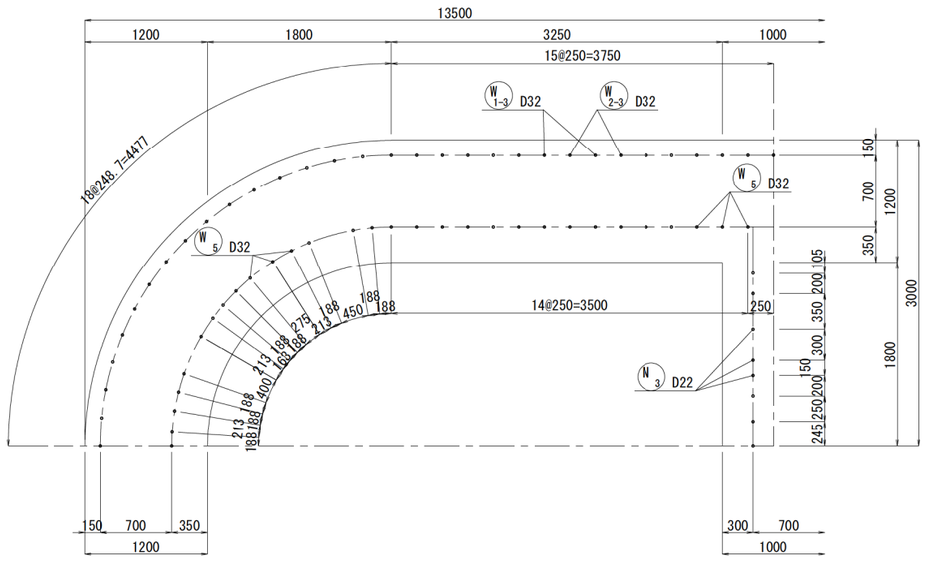
S=1:50

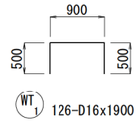


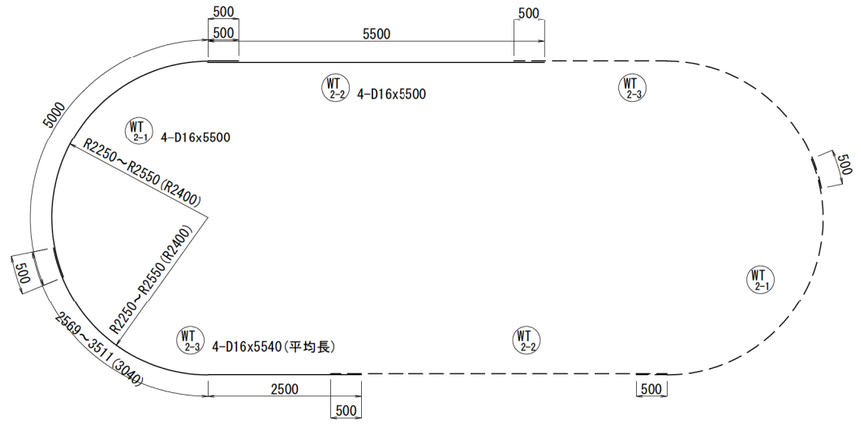




連結筋配置図 S=1:30







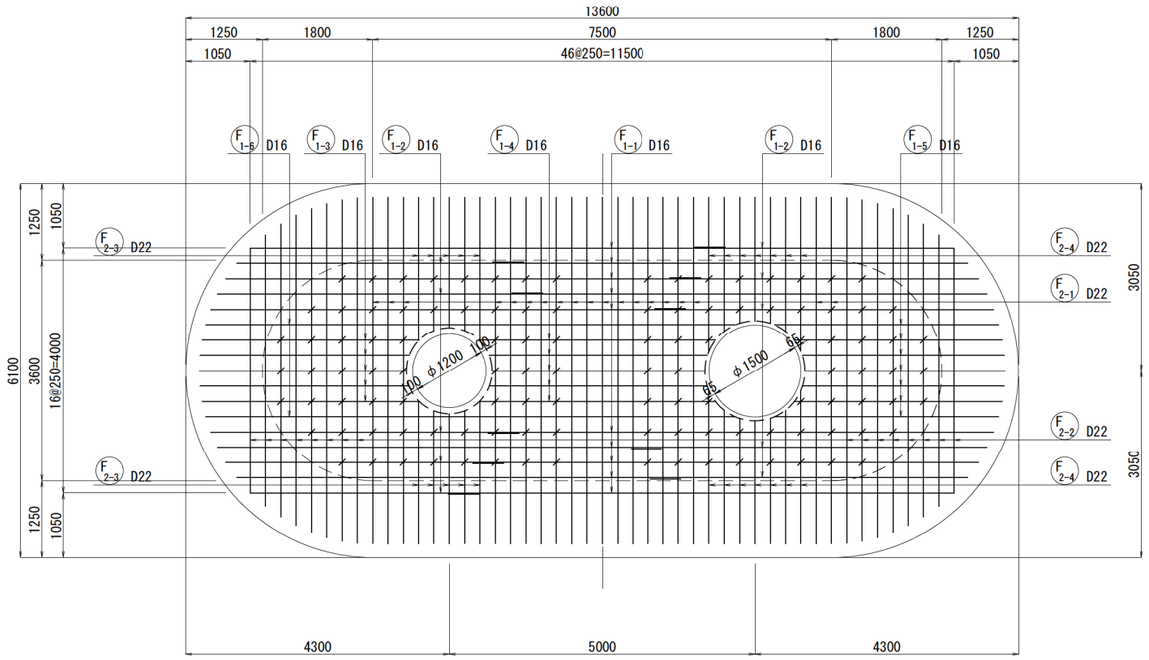
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その7)
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

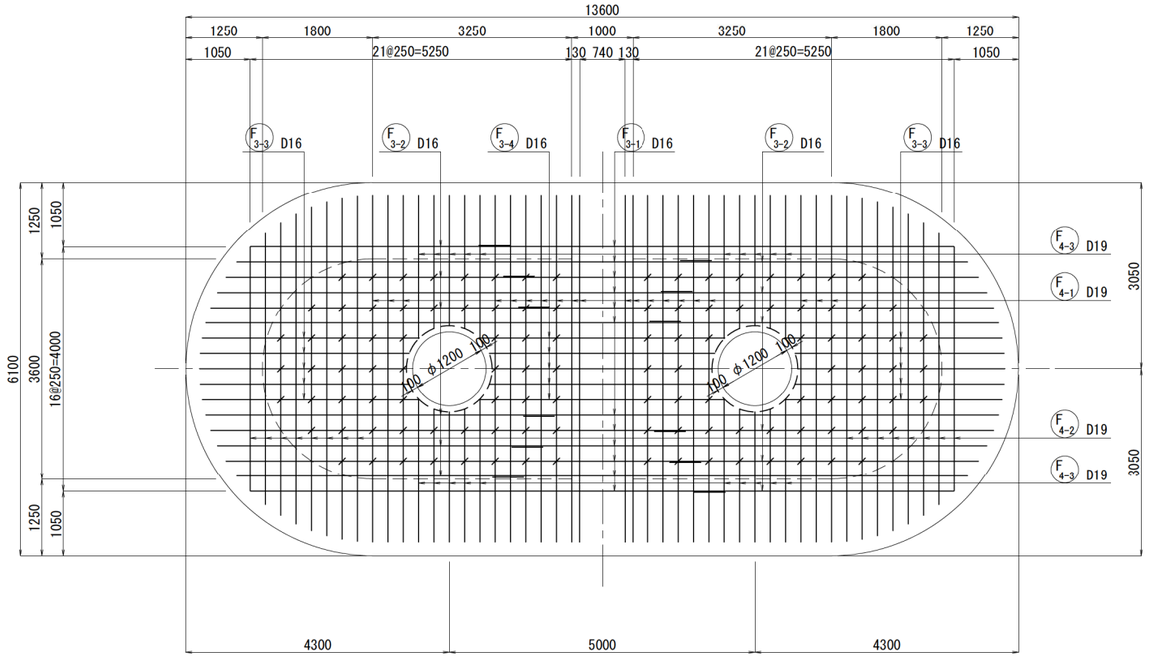
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その8)

S=1:50

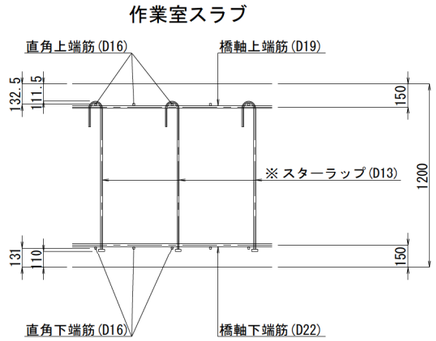
1 - 1



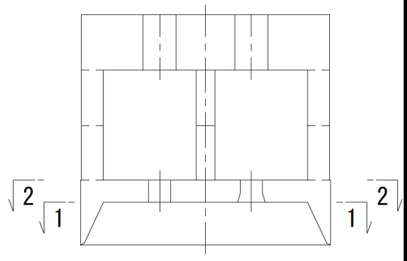
2 - 2



かぶり詳細図 S=1:20



位置図



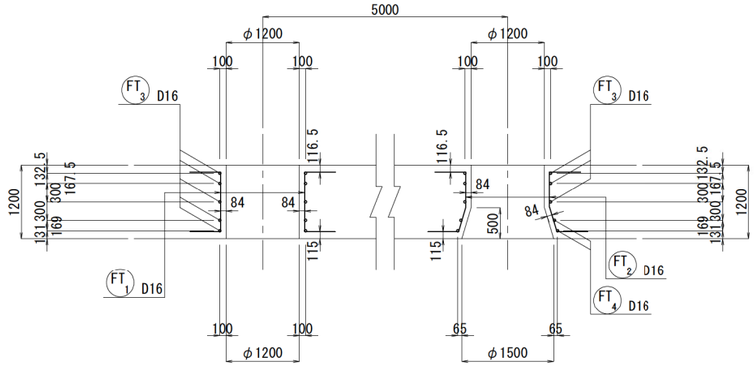
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その8)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

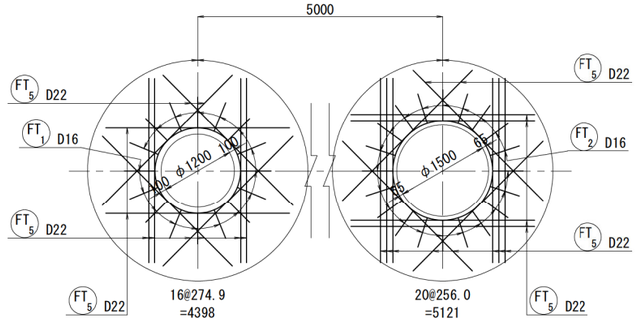
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その9)

S=1:50

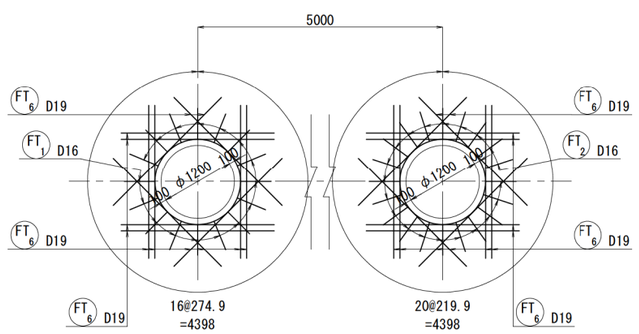
スラブ開口部鉄筋

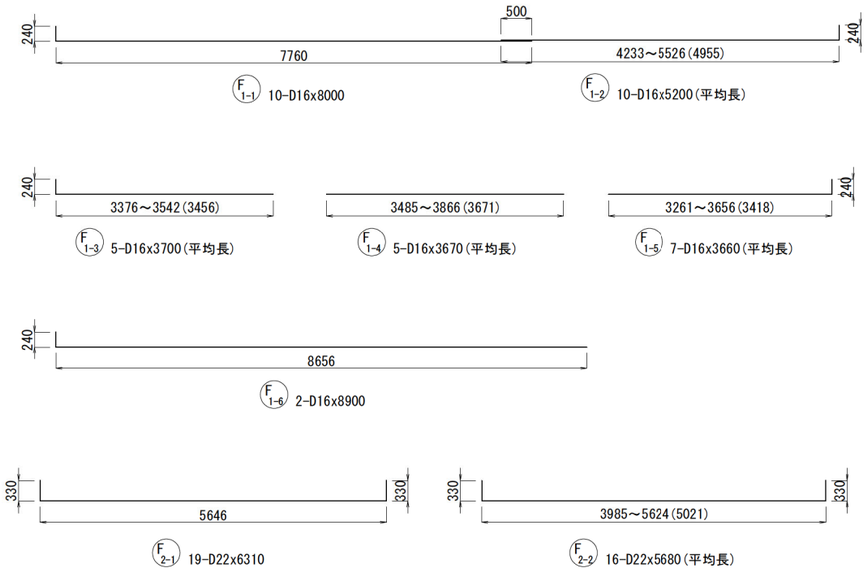


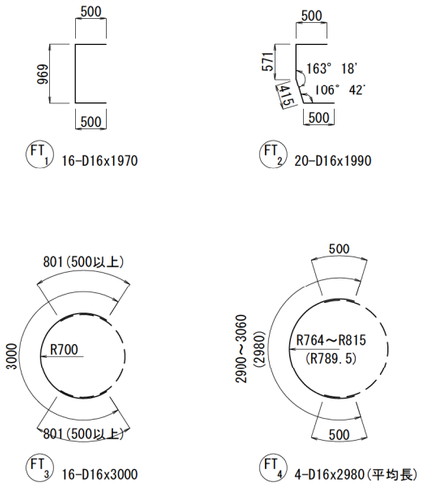
スラブ開口部下面鉄筋



スラブ開口部上面鉄筋







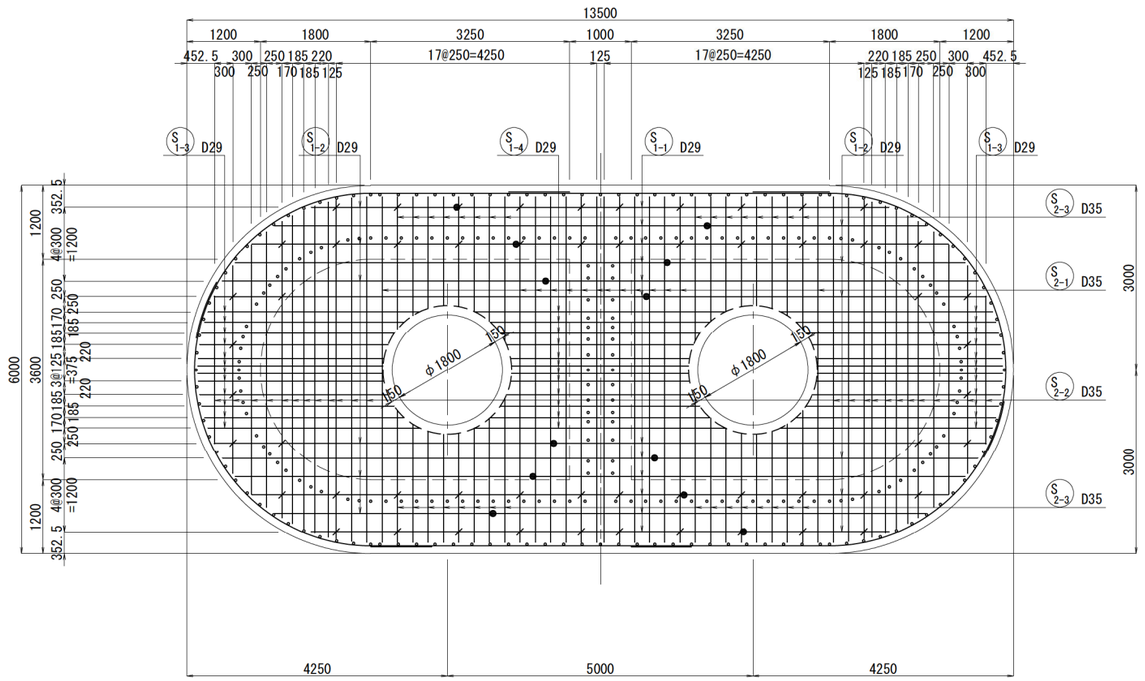
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その9)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

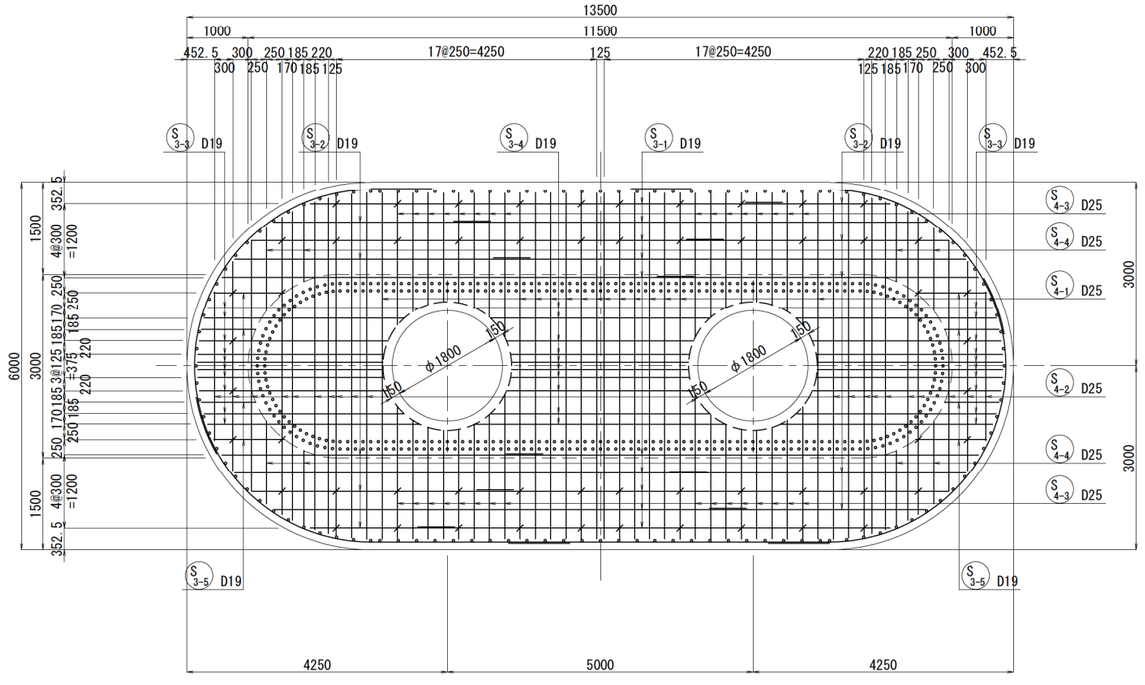
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その10)

S=1:50

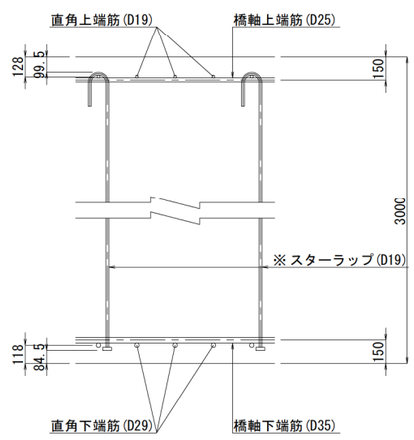
1 - 1



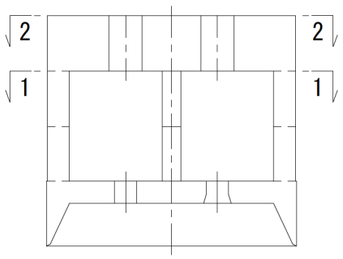
2 - 2



かぶり詳細図 S=1:20



位置図



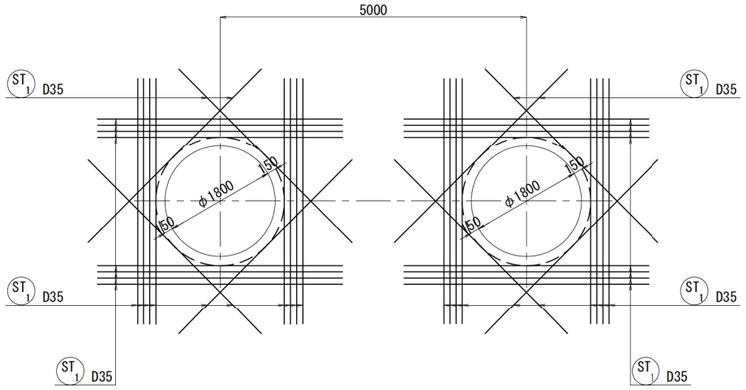
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その10)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

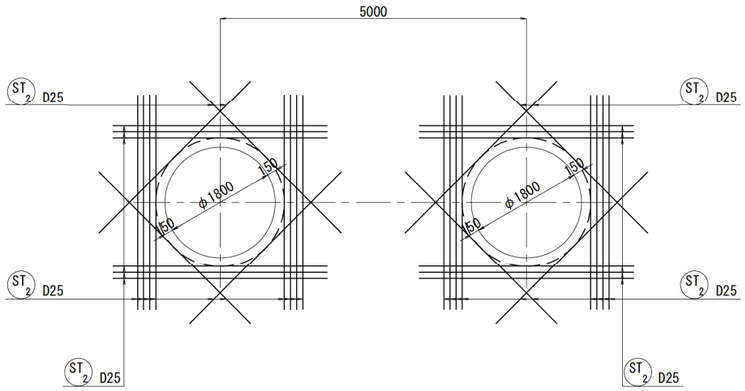
P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その11)

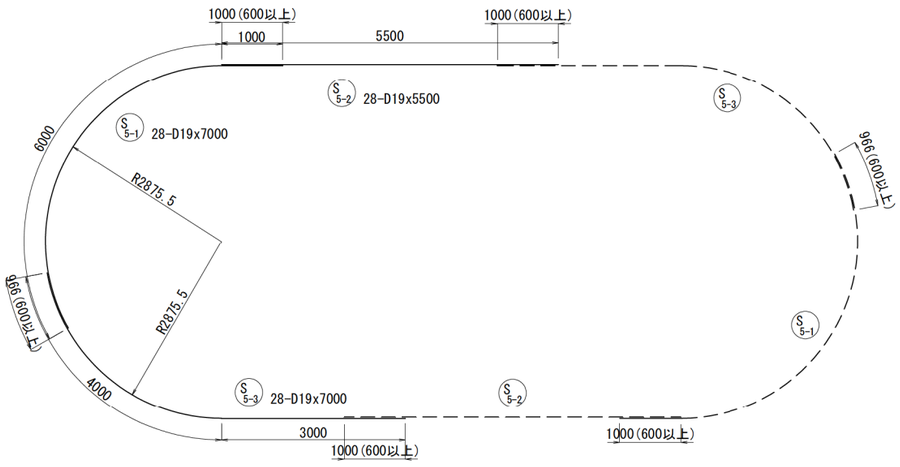
S=1:50

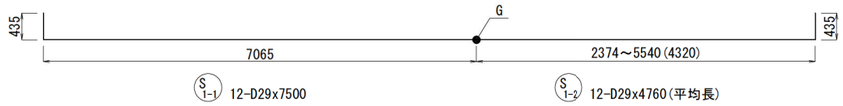
頂版開口部下面鉄筋

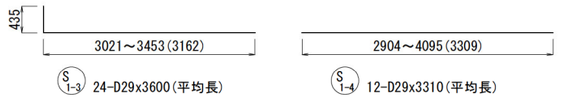


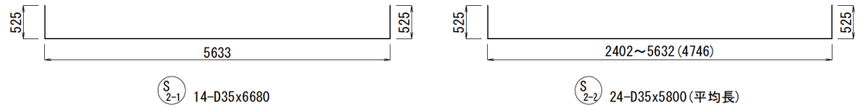
頂版開口部上面鉄筋

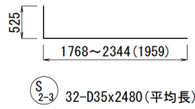


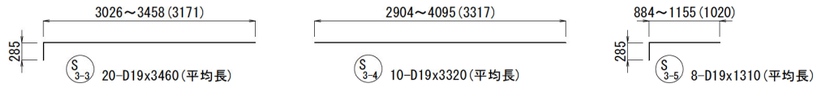


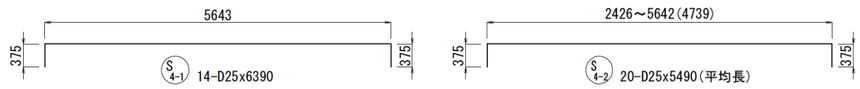


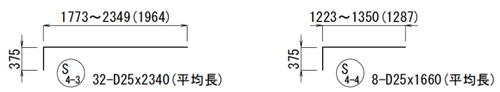


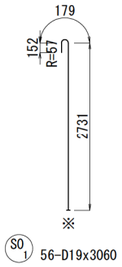


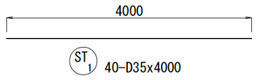


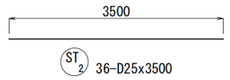












注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その11)
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示
図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その12)

鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要	
刃口								
E 1	D29	4500	132	5.04	22.68	2994		
2	D29	4000	132	5.04	20.16	2661		
3-1	D16	7000	30	1.56	10.92	328		
3-2	D16	6000	30	1.56	9.36	281		
3-3	D16	5500	30	1.56	8.58	257		
4-1	D16	5970	18	1.56	9.31	168	(平均長)	
4-2	D16	6000	18	1.56	9.36	168		
4-3	D16	4490	18	1.56	7.00	126	(平均長)	
E0 1	D13	990	165	0.995	0.99	163	(平均長)	
						7146 kg		
側壁								
W 1-1	D32	2000	66	6.23	12.46	822	<66>	
1-2	D32	3000	66	6.23	18.69	1234	<66>	
1-3	D32	5350	66	6.23	33.33	2200		
2-1	D32	3000	66	6.23	18.69	1234	<66>	
2-2	D32	3000	66	6.23	18.69	1234	<66>	
2-3	D32	4350	66	6.23	27.10	1789		
3-1	D32	2000	64	6.23	12.46	797	<64>	
3-2	D32	3000	64	6.23	18.69	1196	<64>	
3-3	D32	2400	64	6.23	14.95	957		
4-1	D32	3000	66	6.23	18.69	1234	<66>	
4-2	D32	4400	66	6.23	27.41	1809		
5	D32	4000	118	6.23	24.92	2941		
6-1	D32	8650	40	6.23	53.89	2156		
6-2	D32	9950	80	6.23	61.99	4959		
6-3	D32	8920	80	6.23	55.57	4446		
7-1	D32	8650	40	6.23	53.89	2156		
7-2	D32	7670	80	6.23	47.78	3822		
7-3	D32	8000	80	6.23	49.84	3987		
W0 1	D16	1240	1638	1.56	1.93	3161		※
WT 1	D16	1900	126	1.56	2.96	373		
2-1	D16	5500	4	1.56	8.58	34		
2-2	D16	5500	4	1.56	8.58	34		
2-3	D16	5540	4	1.56	8.64	35		
						42610 kg		

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要	
隔壁								
N 1-1	D22	2050	15	3.04	6.23	93		
1-2	D22	3690	15	3.04	11.22	168		
1-3	D22	2900	15	3.04	8.82	132		
2-1	D22	3550	15	3.04	10.79	162		
2-2	D22	4400	15	3.04	13.38	201		
3	D22	2500	30	3.04	7.60	228		
4-1	D22	5120	80	3.04	15.56	1245		
4-2	D22	3120	80	3.04	9.48	758		
NO 1	D16	1010	195	1.56	1.58	308		※
NT 1	D16	1700	15	1.56	2.65	40		
2	D16	6700	2	1.56	10.45	21		
						3356 kg		
作業室								
F 1-1	D16	8000	10	1.56	12.48	125		
1-2	D16	5200	10	1.56	8.11	81	(平均長)	
1-3	D16	3700	5	1.56	5.77	29	(平均長)	
1-4	D16	3670	5	1.56	5.73	29	(平均長)	
1-5	D16	3660	7	1.56	5.71	40	(平均長)	
1-6	D16	8900	2	1.56	13.88	28		
2-1	D22	6310	19	3.04	19.18	364		
2-2	D22	5680	16	3.04	17.27	276	(平均長)	
2-3	D22	2560	10	3.04	7.78	78	(平均長)	
2-4	D22	2540	14	3.04	7.72	108	(平均長)	
3-1	D16	8000	12	1.56	12.48	150		
3-2	D16	5320	12	1.56	8.30	100	(平均長)	
3-3	D16	3700	10	1.56	5.77	58	(平均長)	
3-4	D16	3810	5	1.56	5.94	30	(平均長)	
4-1	D19	6220	20	2.25	14.00	280		
4-2	D19	5590	16	2.25	12.58	201	(平均長)	
4-3	D19	2510	20	2.25	5.65	113	(平均長)	
F0 1	D13	1160	114	0.995	1.15	131		※
FT 1	D16	1970	16	1.56	3.07	49		
2	D16	1990	20	1.56	3.10	62		
3	D16	3000	16	1.56	4.68	75		
4	D16	2980	4	1.56	4.65	19	(平均長)	
5	D22	3000	24	3.04	9.12	219		
6	D19	2500	24	2.25	5.63	135		
						2780 kg		

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要	
頂版								
S 1-1	D29	7500	12	5.04	37.80	454	<12>	
1-2	D29	4760	12	5.04	23.99	288	(平均長)	
1-3	D29	3600	24	5.04	18.14	435	(平均長)	
1-4	D29	3310	12	5.04	16.68	200	(平均長)	
2-1	D35	6680	14	7.51	50.17	702		
2-2	D35	5800	24	7.51	43.56	1045	(平均長)	
2-3	D35	2480	32	7.51	18.62	596	(平均長)	
3-1	D19	8000	10	2.25	18.00	180		
3-2	D19	4330	10	2.25	9.74	97	(平均長)	
3-3	D19	3460	20	2.25	7.79	156	(平均長)	
3-4	D19	3320	10	2.25	7.47	75	(平均長)	
3-5	D19	1310	8	2.25	2.95	24	(平均長)	
4-1	D25	6390	14	3.98	25.43	356		
4-2	D25	5490	20	3.98	21.85	437	(平均長)	
4-3	D25	2340	32	3.98	9.31	298	(平均長)	
4-4	D25	1660	8	3.98	6.61	53	(平均長)	
5-1	D19	7000	28	2.25	15.75	441		
5-2	D19	5500	28	2.25	12.38	347		
5-3	D19	7000	28	2.25	15.75	441		
S0 1	D19	3060	56	2.25	6.89	386		※
ST 1	D35	4000	40	7.51	30.04	1202		
2	D25	3500	36	3.98	13.93	501		
						8714 kg		

ガス圧接ヶ所数

D35	3545	kg	
D32	38973	kg	<458>
D29	7032	kg	<12>
D25	1645	kg	
D22	4032	kg	
D19	2876	kg	
D16	6209	kg	
D13	294	kg	
総合計	64606	kg	<470>

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D13		114				
D16		1833				
D19				56		
D22						
D25						
D29						
D32						
D35						
D38						
D41						
D51						
小計		1947		56		
合計						2003

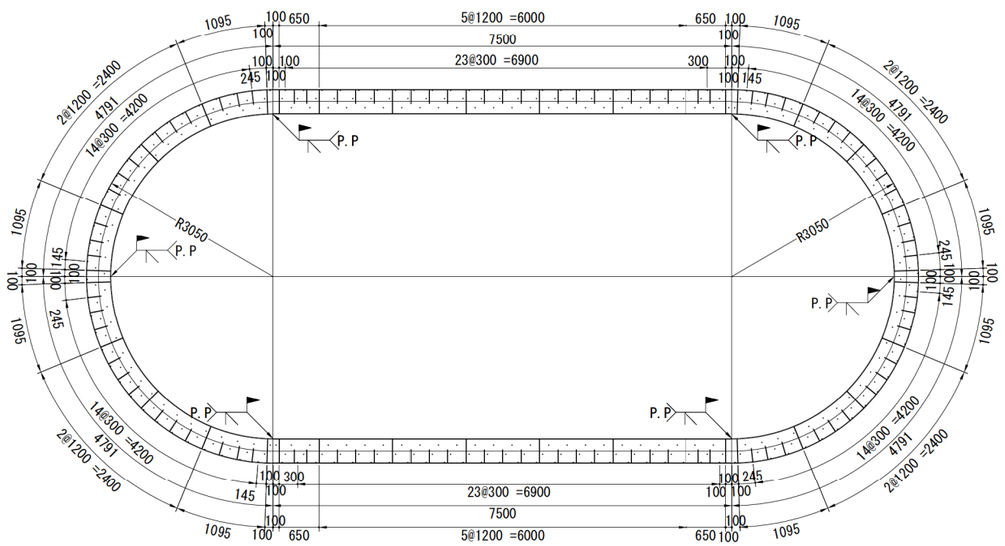
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎配筋図(その12)
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

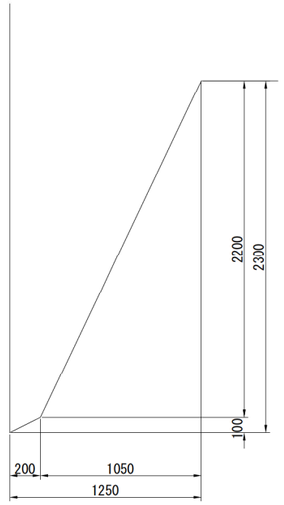
P-2橋脚ケーソン基礎刃口金物図

S=1:50

平　面　図 S=1:50



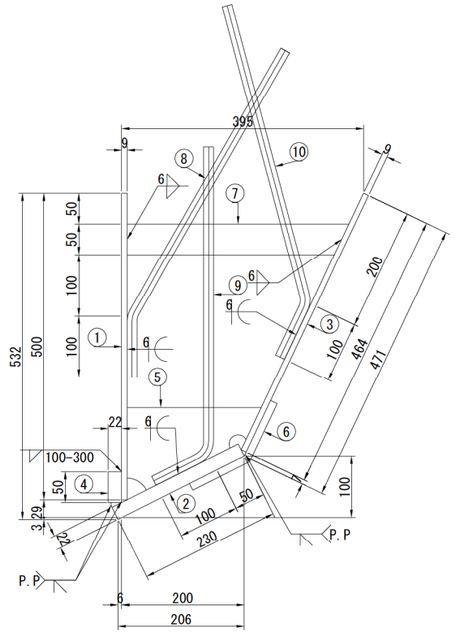
作業室断面図 S=1:20



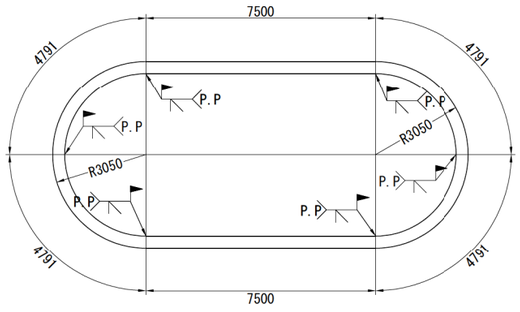
材　料　表

種　別	形　　状	長　さ (mm)	本数 枚数	質量/1個 (kg)	総　質　量 (kg)	材　質	備　　考
①	PL-9×500	4791	4	169.2	677	SS400	
①	PL-9×500	7500	2	264.9	530	SS400	
②	PL-22×230	4800	4	190.7	763	SS400	
②	PL-22×230	7500	2	297.9	596	SS400	
③	PL-9×464	4477	4	146.8	587	SS400	
③	PL-9×464	7500	2	245.9	492	SS400	
④	Fb-22×50	4825	4	41.7	167	SS400	フラットバー
④	Fb-22×50	7500	2	64.8	130	SS400	フラットバー
⑤	PL-9×150	219	122	2.3	281	SS400	補強リブ
⑥	PL-12×150	200	122	2.8	342	SS400	下部補強板
⑦	Fb-9×50	362	36	1.3	47	SS400	フラットバー
⑧	D16	600	114	0.94	107	SD345	アンカー鉄筋
⑨	D16	600	114	0.94	107	SD345	アンカー鉄筋
⑩	D16	600	114	0.94	107	SD345	アンカー鉄筋
SS400 = 4612 kg　　SD345 = 321 kg							

断　面　図 S=1:5



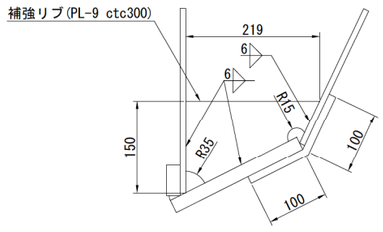
分　割　図 S=1:100



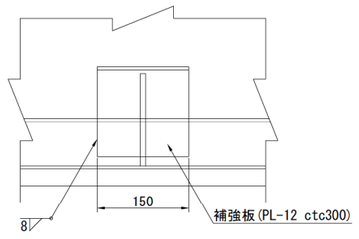
※　P.P:部分溶込み溶接

補強板詳細図 S=1:5

断面図



側面図

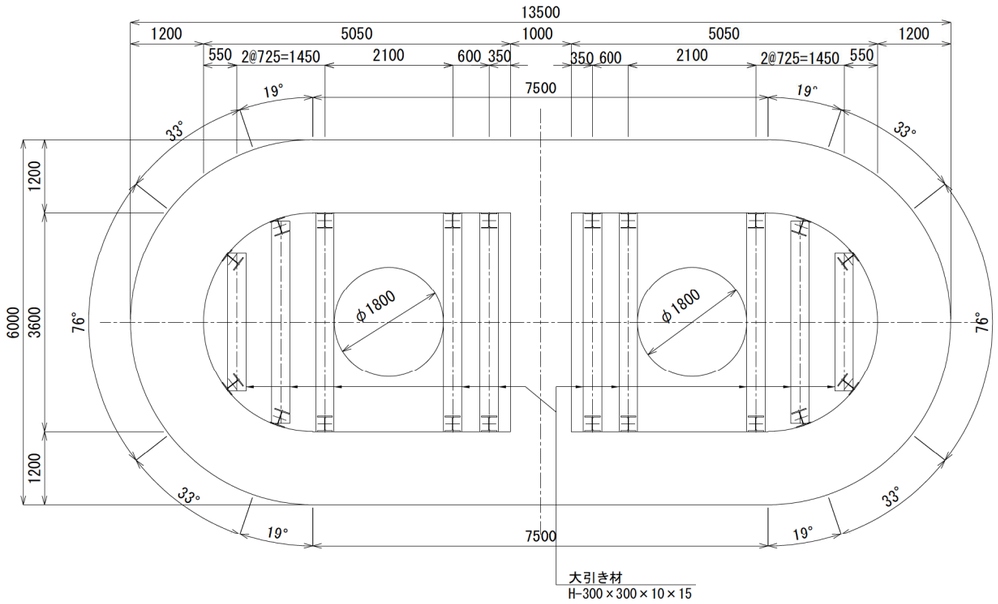


工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎刃口金物図
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示　　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

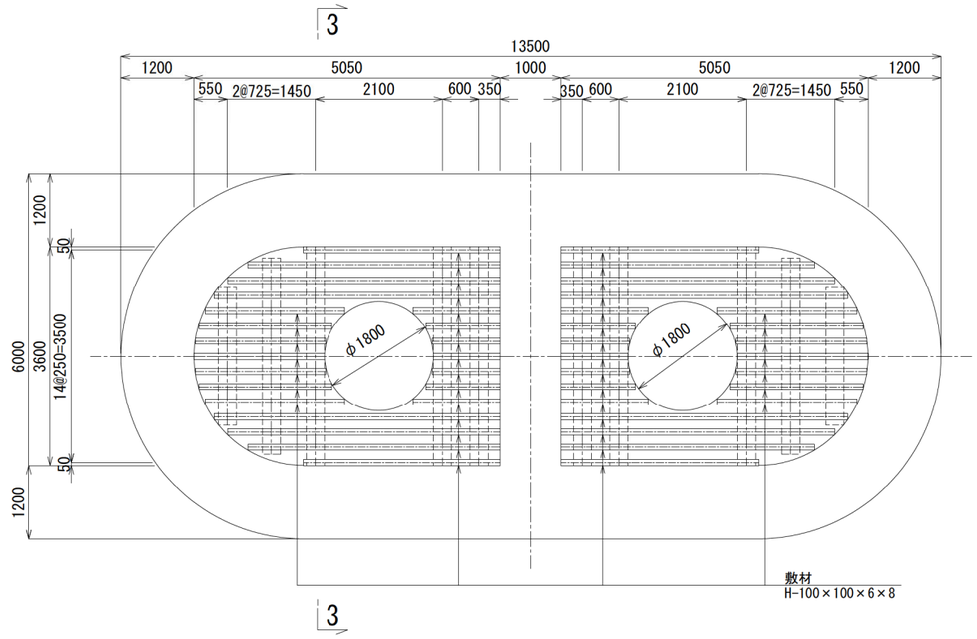
P-2橋脚ケーソン基礎頂版支保工図

S=1:50

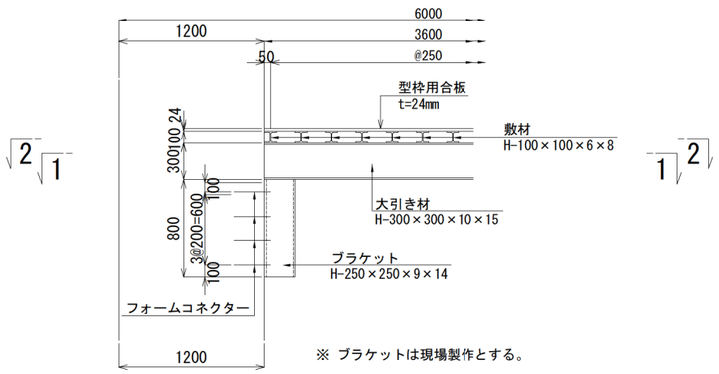
1 － 1 S=1:50



2 － 2 S=1:50



3 － 3 S=1:25



※ ブラケットは現場製作とする。

材 料 表

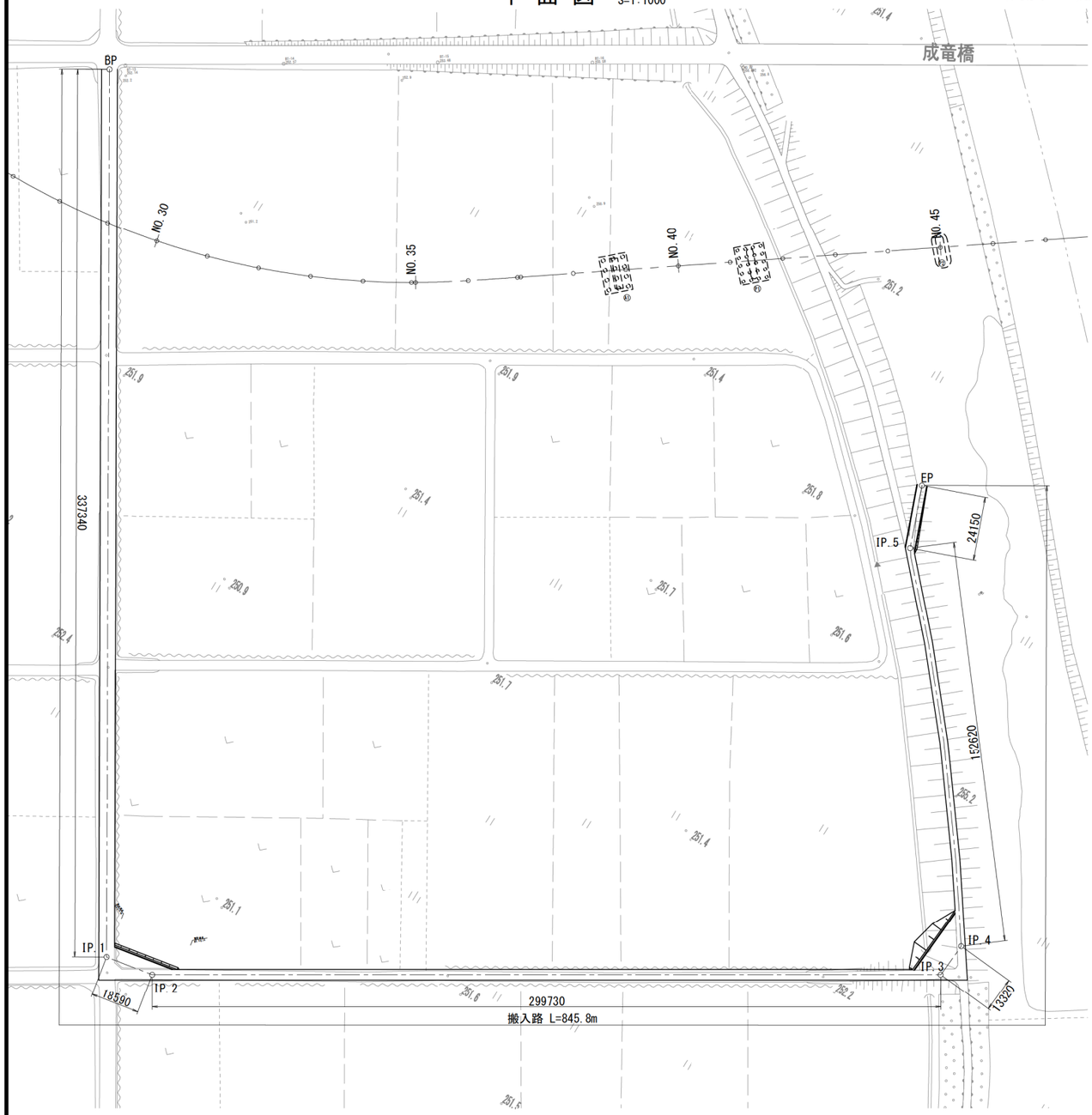
種　別	寸法	長 さ (m)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
大引き材	H-300×300×10×15	2263	2	93.0	210.46	421	SS400
〃	〃	3337	2	93.0	310.34	621	SS400
〃	〃	3600	6	93.0	334.80	2009	SS400
					小計	3051 kg	
敷　材	H-100×100×6×8	1100	2	16.9	18.59	37	SS400
〃	〃	1123	4	16.9	18.98	76	SS400
〃	〃	1221	4	16.9	20.63	83	SS400
〃	〃	1434	4	16.9	24.23	97	SS400
〃	〃	2147	4	16.9	36.28	145	SS400
〃	〃	2149	2	16.9	36.32	73	SS400
〃	〃	2184	4	16.9	36.91	148	SS400
〃	〃	2297	4	16.9	38.82	155	SS400
〃	〃	3250	4	16.9	54.93	220	SS400
〃	〃	4165	4	16.9	70.39	282	SS400
〃	〃	4495	4	16.9	75.97	304	SS400
〃	〃	4712	4	16.9	79.63	319	SS400
					小計	1939 kg	
ブラケット	H-250×250×9×14	800	20	71.80	57.44	1149	SS400
					小計	1149 kg	
					鋼材合計	6139 kg	
構造用合板　t＝24mm　A＝28.5m2							
フォームコネクター（35-300）　n＝160本（1箇所あたり8本）							
ハイテンションボルト（M22 F10-T）　n＝160本（1箇所あたり8本）							

工事名	令和3年度 阿武隈川上流遊水地下流橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 P-2橋脚ケーソン基礎頂版支保工図
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

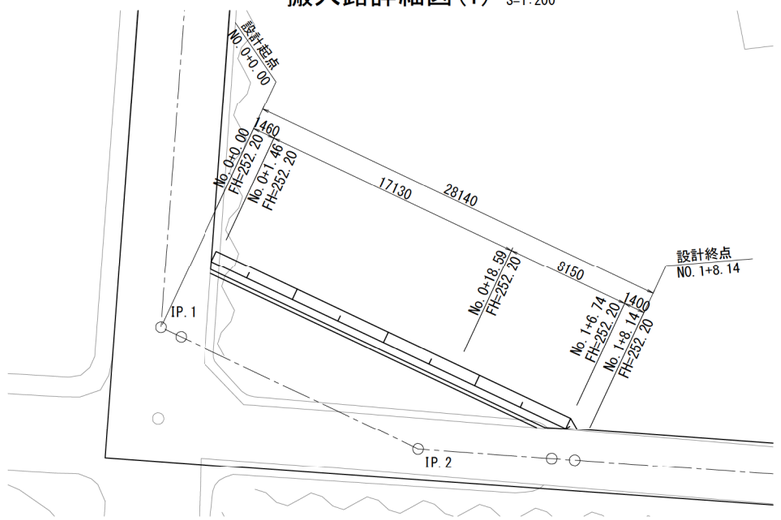
成竜橋 工事用搬入路(案)(その2)

<P2橋脚　搬入路>

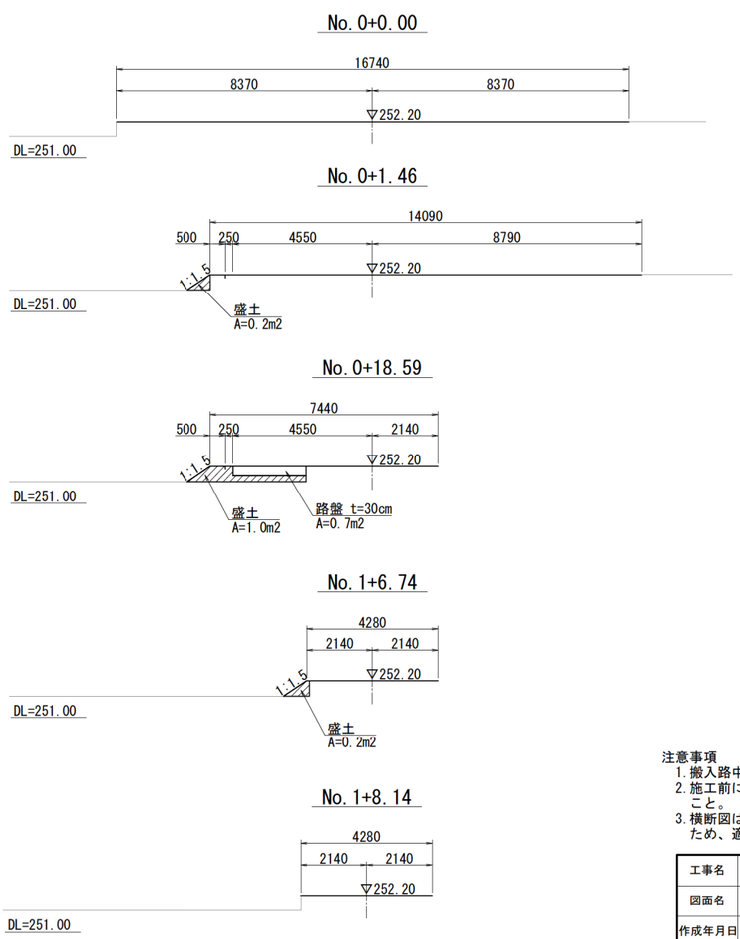
平 面 図 S=1:1000



搬入路詳細図(1) S=1:200



横断図(1) S=1:100



搬入路中心線座標

	X	Y
BP	136678.9440	49326.0474
IP.1	136392.0931	49503.5755
IP.2	136395.5596	49521.8383
IP.3	136554.1318	49776.1868
IP.4	136567.4194	49777.0639
IP.5	136685.4705	49680.6436
EP	136707.9788	49671.8985

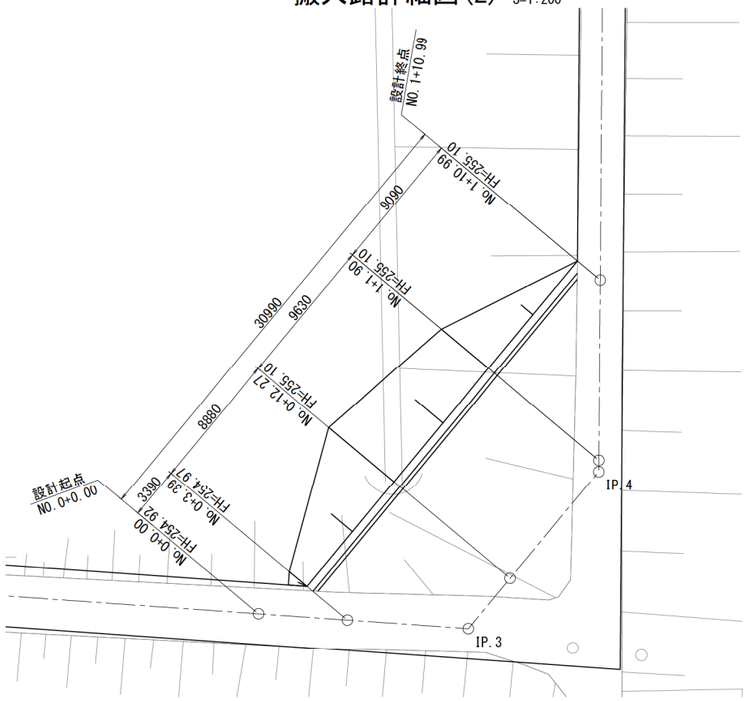
注意事項
1. 搬入路中心線座標はCAD計測で設定している。
2. 施工前に電柱、水路等の支障物を移設すること。
3. 横断図は地形図からペーロケで設定しているため、適宜修正のこと。

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 工事用搬入路(案)(その2)		
作成年月日	令和 6年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

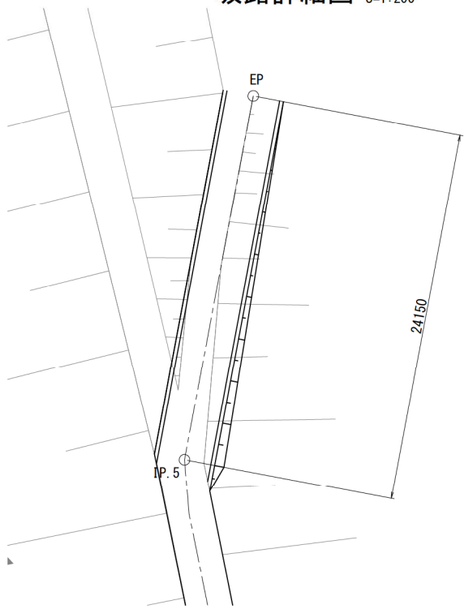
成竜橋 工事用搬入路(案)(その3)

＜P2橋脚 搬入路・坂路＞

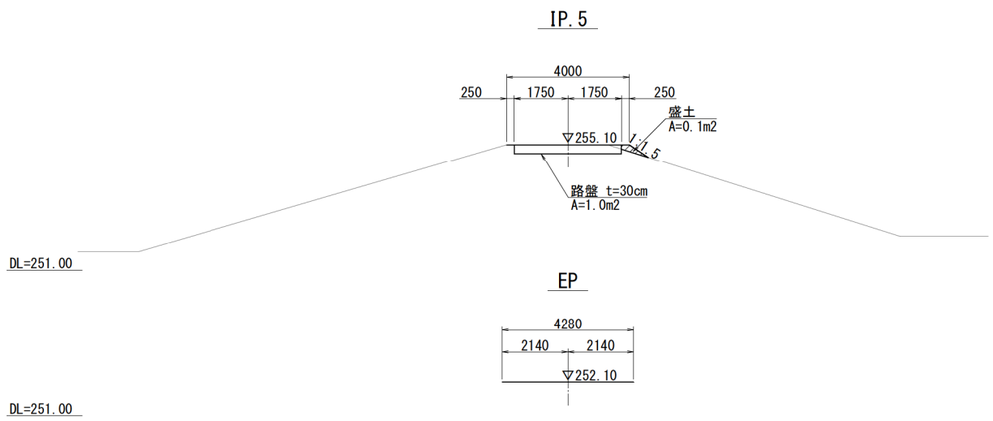
搬入路詳細図(2) S=1:200



坂路詳細図 S=1:200

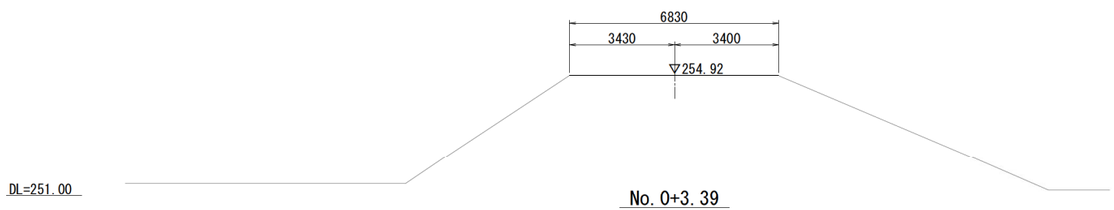


横断図(3) S=1:100

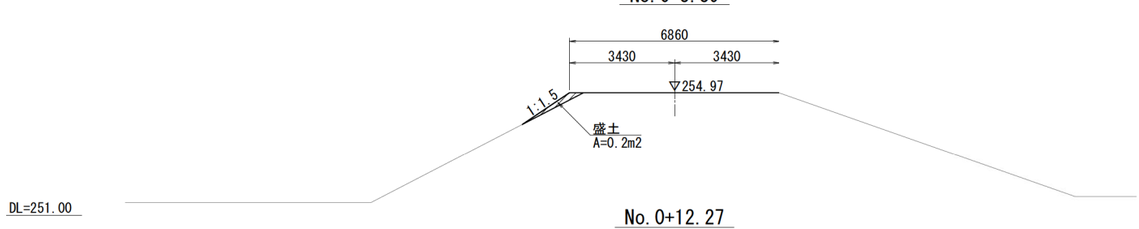


横断図(2) S=1:100

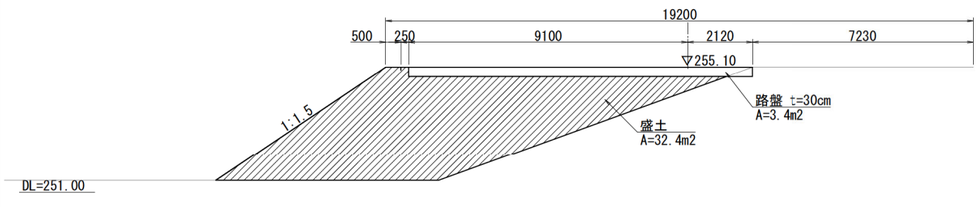
No.0+0.00



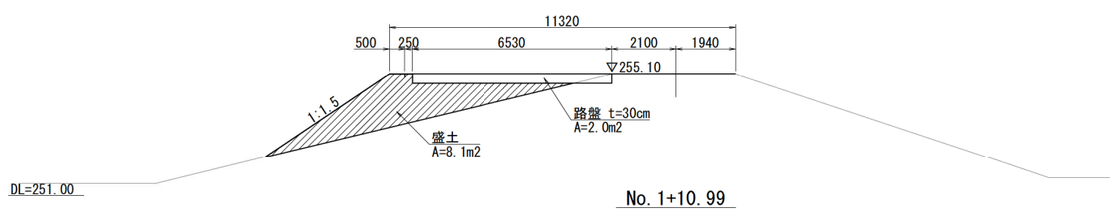
No.0+3.39



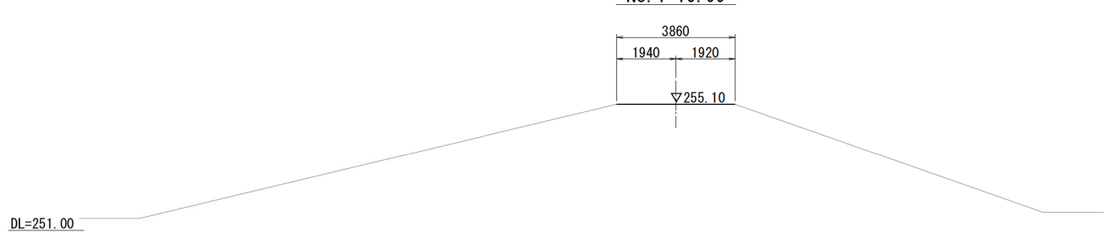
No.0+12.27



No.1+1.90



No.1+10.99

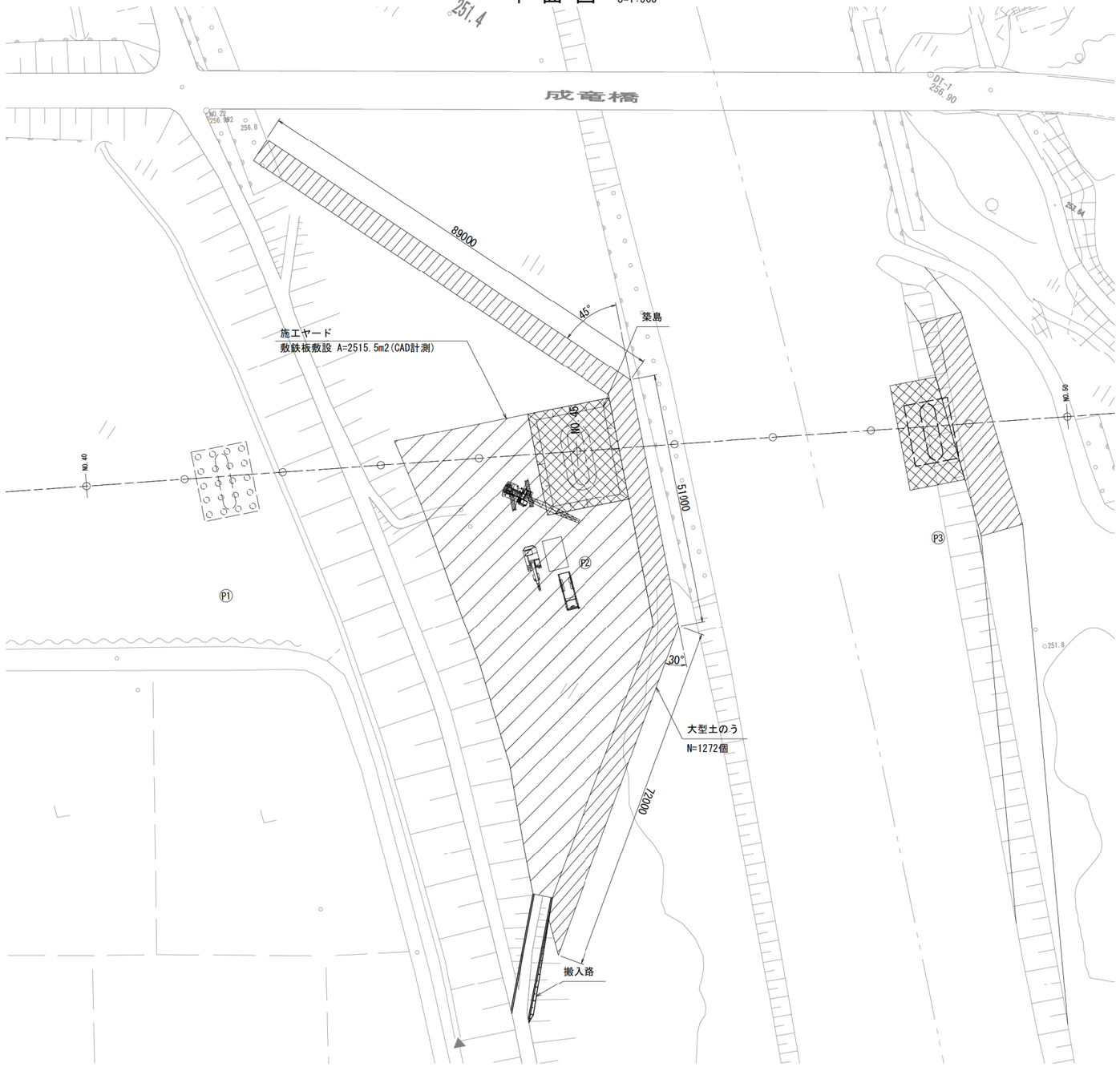


注意事項
1. 搬入路中心線座標はCAD計測で設定している。
2. 施工前に電柱、水路等の支障物を移設すること。
3. 横断図は地形図からペーロケで設定しているため、適宜修正のこと。

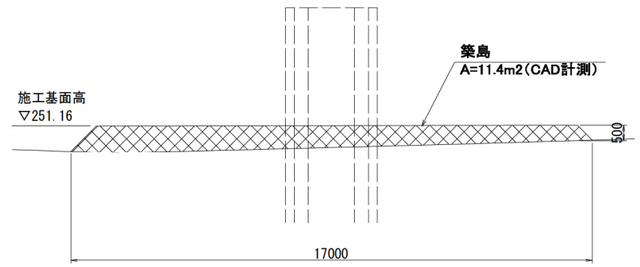
工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 工事用搬入路(案)(その3)
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示
図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

成竜橋 施工ヤード計画図(案)(その3)
(P2橋脚)

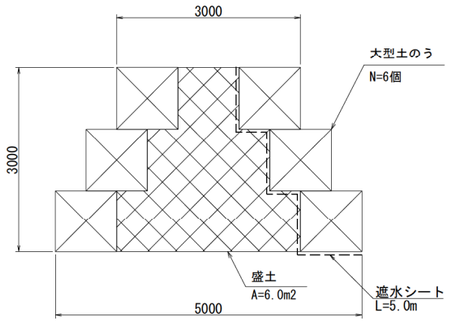
平 面 図 S=1:500



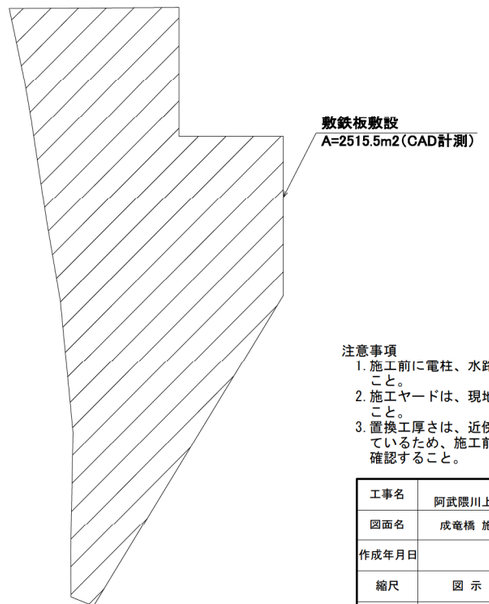
築島 断面図 S=1:100



大型土のう断面図 S=1:50



敷鉄板敷設範囲図 S=1:500



注意事項
1. 施工前に電柱、水路等の支障物を移設すること。
2. 施工ヤードは、現地状況に応じて適宜対応のこと。
3. 置換工厚さは、近傍の柱状図をもとに設定しているため、施工前に平板載荷試験などで確認すること。

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務		
図面名	成竜橋 施工ヤード計画図(案)(その3)		
作成年月日	令和 6年 3月		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

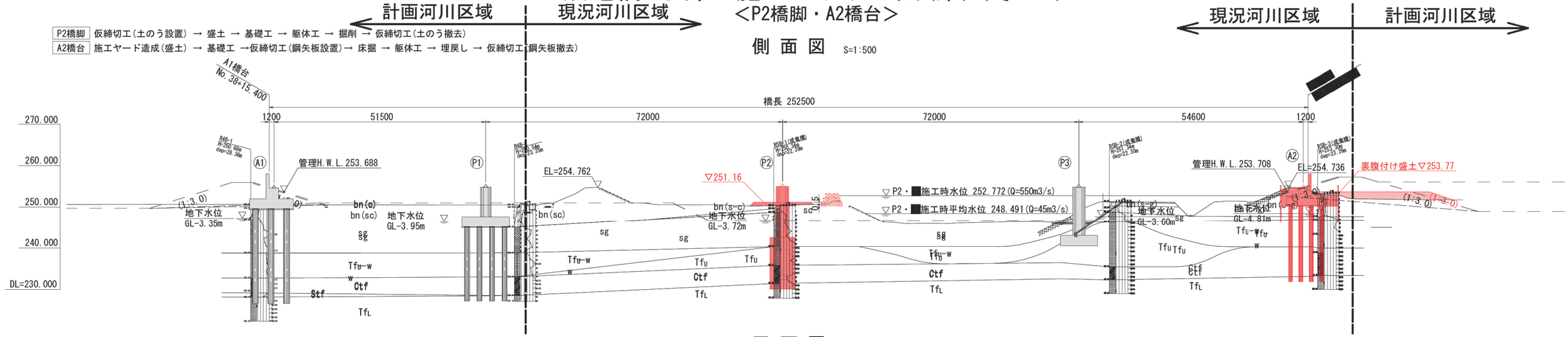
成竜橋 下部工施工ステップ図(案)(その3)

<P2橋脚・A2橋台>

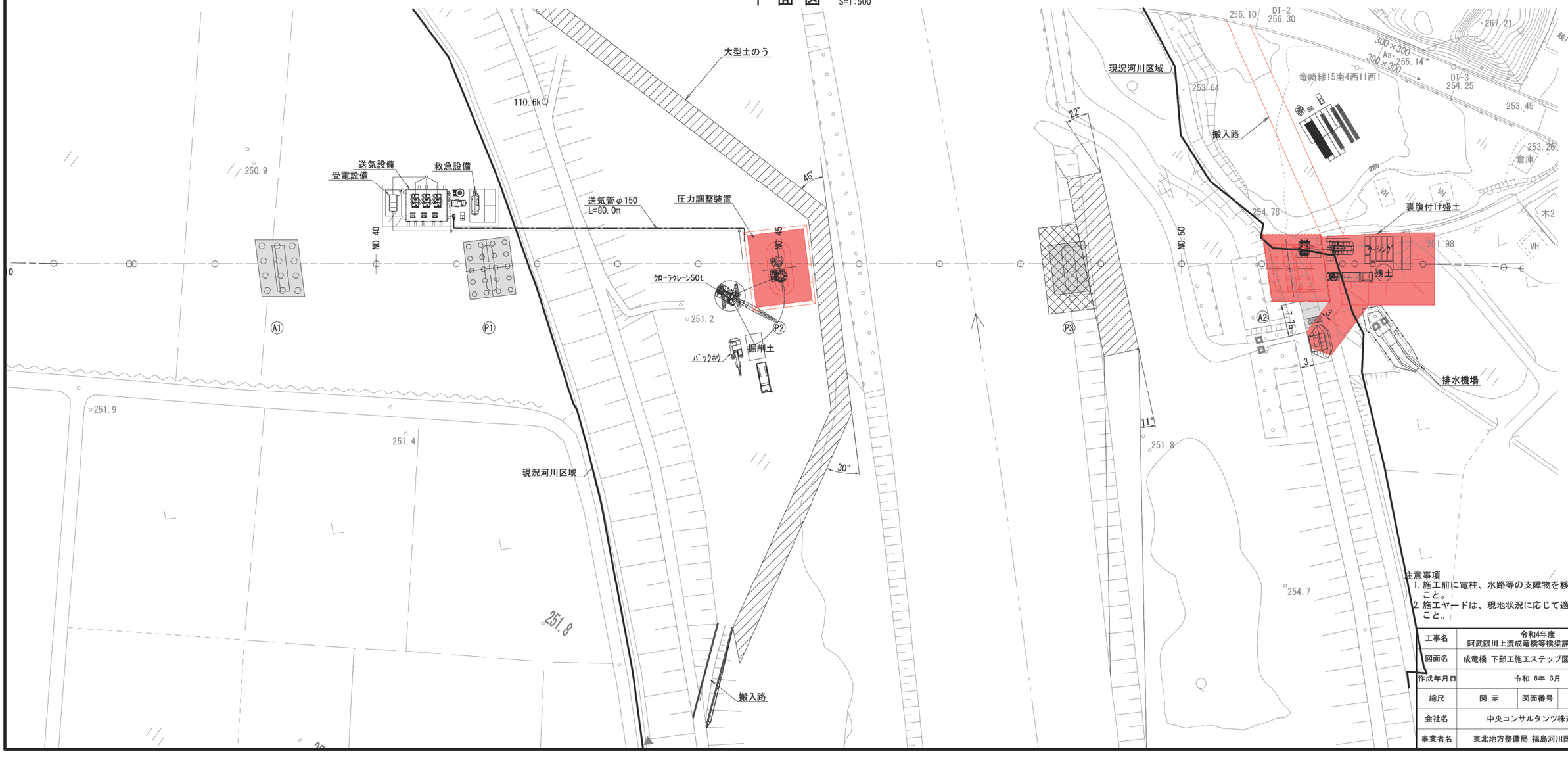
P2橋脚　仮締切工(土のう設置) → 盛土 → 基礎工 → 躯体工 → 掘削 → 仮締切工(土のう撤去)

A2橋台　施工ヤード造成(盛土) → 基礎工 →仮締切工(鋼矢板設置)→ 床掘 → 躯体工 → 埋戻し → 仮締切工(鋼矢板撤去)

側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



注意事項
1. 施工前に電柱、水路等の支障物を移設すること。
2. 施工ヤードは、現地状況に応じて適宜対応のこと。

工事名	令和4年度 阿武隈川上流成竜橋等橋梁詳細設計業務
図面名	成竜橋 下部工施工ステップ図(案)(その3)
作成年月日	令和 6年 3月
縮尺	図 示　図面番号
会社名	中央コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所